

令和4年度版

日進市環境基本計画年次報告書

令和3年度の環境の状況並びに計画の実施状況



日進市
N I S S H I N

令和4年10月

日 進 市

- 目次 -

第1部 計画の基本的事項

1	計画の趣旨と推移	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画期間	2
4	対象とする環境まちづくりの範囲と計画概要	2
5	分野別計画	2

第2部 計画（分野別計画）の実施状況

1	令和3年度の実施状況	4
2	分野別計画 A～Lの実施状況	7
A	川や池の水と水辺	8
B	水の風景・水資源	12
C	里山と息づく動植物	16
D	農のある暮らし	20
E	緑のネットワーク	24
F	生活環境	28
G	まちなみ・まちかど	32
H	みちと足	36
I	暮らし全般・エネルギー	40
J	生活と廃棄物	44
K	コミュニティ	48
L	遊びと学び	54

参考資料

河川水質調査	63
河川底質調査	65
ため池水質調査	66
大気汚染物質調査	67

第1部 計画の基本的事項

1. 計画の趣旨と推移

本市では、多くの市民、こども及び市職員との参画、共働により、今ある大切な環境を保全しながら、誰にとっても暮らしやすく誇りと愛着を感じることができる「日進」となるよう、環境の将来像とその将来像の実現のための具体的な行動をまとめた、「日進市環境基本計画」を平成16年3月に策定しました。

この計画では、長期的な計画期間を20年間として長期目標を定め、社会経済情勢や環境問題の変化に応じて見直しを行うものとしました。短期的には5年間を計画期間として短期目標を定め、5年ごとに見直しを行うこととしています。

これまでに、平成20年度と平成25年度の二回の見直しを行い、地域別の取り組みや重点コンセプトを追加するなど計画の改訂を行いました。

＜重要コンセプト＞

- ①環境分野における持続可能な開発のための教育（ESD）を進める
- ②環境まちづくりへの多様な組織の参加と連携の促進

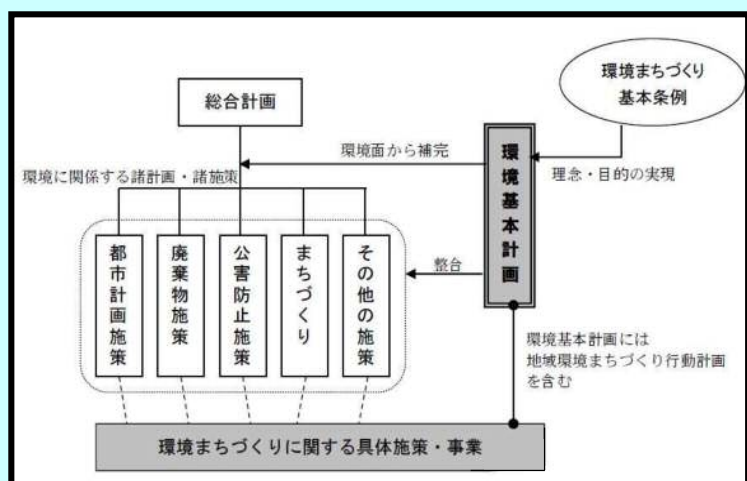
2. 計画の位置づけ

『第6次日進市総合計画』における、将来都市像「ともに暮らす 私たちがつないで創る 人とみどりを大切にするまち 日進」に基づき、人と環境との適切な関わりを軸に、日進の将来像について、長期的、総合的な施策の指針を横断的にとらえ、環境面での総合計画として位置づけました。

また、環境という切り口により、望ましい地域社会の構築をハード・ソフト・ハートのそれぞれの面から模索する「まちづくり」そのものである機能・役割を持つものとします。

（環境まちづくり評価委員会）

本委員会は、環境基本法第44条において定められている機関であり、環境基本計画等環境まちづくりに関する重要な事項の調査と審議を行うために設置され、環境まちづくりの推進に向けて取り組んでいます。



3. 計画期間

短期目標（5年）・・・平成26年度～平成30年度

＊平成15年度の策定以降10年を経過した平成25年度に見直しを行い、新たな短期目標を定めました。

長期目標（10年）・・・平成26年度～令和5年度

＊長期目標については、社会経済情勢の変化に伴う環境問題の変化に応じて、計画の見直しを行います。

4. 対象とする環境まちづくりの範囲と計画概要

計画づくりの過程で出てきた多くの環境課題を整理し、対象とする環境まちづくりの範囲を設定し、「6つのテーマ」を設定しました。



計画の概要

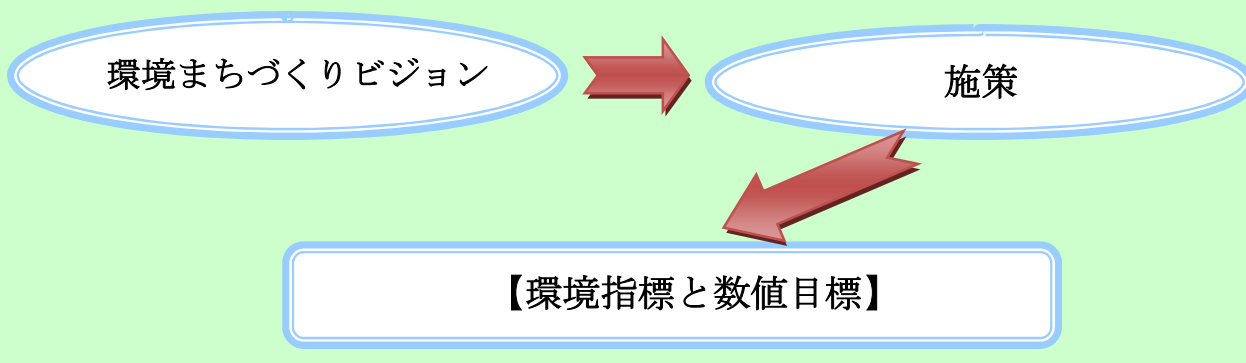
- 1 分野別計画：上記6テーマを12分野で、現状と課題、環境まちづくりビジョン、環境指標と数値目標値、環境まちづくりプログラム（施策と具体的な取り組み）を計画しました。
- 2 重点プロジェクト：分野別計画の施策の中から重点的に推進すべき施策を、強力で推進するために共働で実施するもので、10の重点プロジェクトを計画しました。
本年次報告書では、分野別計画に沿って分析を行っています。

（重点プロジェクト）

- [1]源流域元気プロジェクト [2]親水プロジェクト
- [3]東部丘陵自然公園プロジェクト [4]みどりいっぱいプロジェクト
- [5]おもむきあるまちなみプロジェクト
- [6]みんなにやさしい交通プロジェクト
- [7]エコ生活プロジェクト [8]ごみのないまちプロジェクト
- [9]コミュニティプロジェクト [10]おまかせ！エコ共育プロジェクト

5. 分野別計画

分野別計画は、12分野の環境まちづくりビジョンを実現するための施策と施策達成後の環境指標と数値目標を設定しました。



第2部

計画(分野別計画)の実施状況

1 令和3年度の実施状況

(1) 全体の実施状況

＜成果指標・進行管理指標の達成状況＞

分野	分野別計画		成果指標			進行管理指標			
			指標数	長期目標達成数		指標数	長期目標達成数		
				H30	R2		R1	R2	R3
水	A	川や池の水と水辺	1	0	0	5	1	1	1
	B	水の風景・水資源	1	0	0	3	0	0	0
緑	C	里山と息づく動植物	1	0	0	4	1	1	1
	D	農のある暮らし	1	0	0	4	1	0	1
	E	緑のネットワーク	1	0	0	3	0	0	0
まち	F	生活環境	1	0	0	6	3	3	3
	G	まちなみ・まちかど	1	0	0	3	0	0	0
	H	みちと足	1	0	0	3	1	1	1
ライフスタイル	I	暮らし全般・エネルギー	1	0	0	5	0	1	1
	J	生活と廃棄物	1	0	0	5	2	2	1
コミュニティ	K	コミュニティ	1	0	0	4	2	1	1
遊びと学び	L	遊びと学び	1	0	0	4	3	2	3
			12	0	0	49	14	12	13
			達成率	0%	0%	達成率	29%	24%	27%

※ 達成率 (%) = (長期目標達成指標数 ÷ 指標数合計) × 100

- ・長期目標を達成した指標は、成果指標で0%、進行管理指標で27%となりました。進行管理指標においては、着実な取り組みの成果として指標の改善があったものもあるものの、達成には至らないものが多く、達成率は低迷しているのが現状です。これらの要因としては、外部要因が入ってくることから市の裁量が及ばない取組があること、目標値の設定に見込み違いがあったことなどが考えられます。また、達成の有無にかかわらず、指標の定義が不明瞭であること、数値測定が困難なものがあること、効果的な指標となっていないことなどが課題となっています。
- ・第2次環境基本計画の策定にあたっては、指標の妥当性、有効性を検証していく必要があります。

(2) 指標について＜成果指標と進行管理指標＞

- ・これらの指標はビジョンの達成度を推し量り、状況を具体的に把握するためのツールです。
- ・指標名、基準値、直近の現状値と長期目標値（令和5年度まで）を表しています。
- ・成果指標は、2年ごとに行われる市民意識調査の結果を指標としています。（平成26年度までは3年ごとに実施しており、最新の調査は令和2年度に実施しています。）
- ・進行管理指標は、その年の値を記載しています。
- ・平成25年度の見直しにより、基準値については、成果指標は平成23年度、進行管理指標は平成24年度の値を記載しています。

(3) 施策と関係課

- ・「環境まちづくりビジョン」を実現するために、こうしていこう！という施策を表しています。
- ・環境まちづくりプログラムの12分野における施策の方向性を掲げ、それを展開するための施策・具体的取組・所管課を表記しています。
- ・なお、所管課は令和4年度の機構図に基づくものです。

(4) 環境まちづくりへの多様な組織の参加と連携の促進における取組状況

本市は、SDGs（持続可能な開発目標）（※（5）参照）達成に貢献できる担い手づくりのため、ESD（持続可能な開発のための教育）の考え方を取り入れた人づくりを行い、全ての市民が持続可能な社会の実現に向けて自発的に行動できるよう環境意識を高めていく取組を推進しています。

ESD普及啓発事業の中において、環境基本計画の分野別計画「L.遊びと学び」の環境まちづくりプログラム「L-1 環境共育（ESD）の推進」に該当する事業について、市民団体からの提案を受けた事業や民間事業者との連携を図った事業を実施しています。

(5) SDG s (持続可能な開発目標)

SDG s は、発展途上国のみならず先進国を含む国際社会全体の開発目標として、持続可能な世界を実現するための包括的な 17 の目標及び細分化された 169 のターゲットから構成され、地球上の「誰ひとり取り残さない」社会の実現をめざし、環境・経済・社会の諸課題を包括的に扱い、広範囲な課題に対する統合的な取組が示されています。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むべき課題であること、また、自治体を含めたさまざまな立場の人が取り組むべき目標とされています。

本市においても、持続可能な社会を実現するため、SDG s を達成するための取組を積極的に推進していきます。



2 分野別計画 A～Lの実施状況

<実施状況のまとめ方>

項目	①成果指標	②進行管理指標	③具体的取り組み
手法	定量的評価		定性的評価
根拠	市民意識調査	所管課等の把握するデータ	各課の事業
	数値		所管課の年度実績

A. 川や池の水と水辺

この分野は、主に川の水質を改善するために、市民意識の向上を図り、管理や実行の進捗を把握するための水辺の環境、川や池の水質を改善するための取り組み、水辺の環境を改善するための取り組みをまとめたものです。

項目	数値	目標	達成率	備考
水質改善	24.6%	30%	82%	実施済

①

項目	数値	目標	達成率	備考
A1 水質改善	53%	50%	106%	実施済
A2 水質改善	50%	50%	100%	実施済
A3 水質改善	50%	50%	100%	実施済

②

【中核計画の進捗と今後の見通し】
 中核計画の進捗状況を把握するために、定期的に実施状況を把握し、進捗が遅れている場合は、原因を調査し、改善策を講ずる。また、進捗が速い場合は、進捗を維持し、さらなる改善を図る。また、進捗が遅れている場合は、原因を調査し、改善策を講ずる。また、進捗が速い場合は、進捗を維持し、さらなる改善を図る。

②のグラフ

A. 川や池の水と水辺

③

項目	数値	目標	達成率	備考
水質改善	24.6%	30%	82%	実施済
水質改善	53%	50%	106%	実施済
水質改善	50%	50%	100%	実施済
水質改善	50%	50%	100%	実施済

③

具体的な取り組みの概要と実施状況の表。

- ・分野別計画は、①～③の3項目で進行管理をしています。
- ・各分野の実施状況を、まず①②をまとめて掲載しています。
- ・その次に、③について施策ごとにまとめて掲載しています。

A. 川や池の水と水辺



この分野は、「水」に関わる要素のうち、川や池の水のきれいさ、護岸や周辺の美化などの水辺の環境、流れや水量などの川や池の状態、水に依存する生き物の生態系を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	川や池などの水質についての満足度	24.4	%	31.6	29.2	未達成	34

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
A1	河川のBOD平均値(各河川測定地点値)	1.5~4.0 (平均値2.8)	mg/l	1.3~6.3 (平均値3.1)	1.7~4.1 (平均値3.1)	1.8~5.6 (平均値3.0)	1.8~6.4 (平均値3.2)	達成	5以下
	生活排水処理率	83	%	90.5	91.3	91.4	91.8	未達成	93
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	—	箇所	—	—	—	—	未達成	10
A3	水生生物調査延べ参加者数	575	人	980	1,107	1,157	1,186	未達成	2,000
A4	河川愛護団体数	10	団体	10	10	10	10	未達成	20

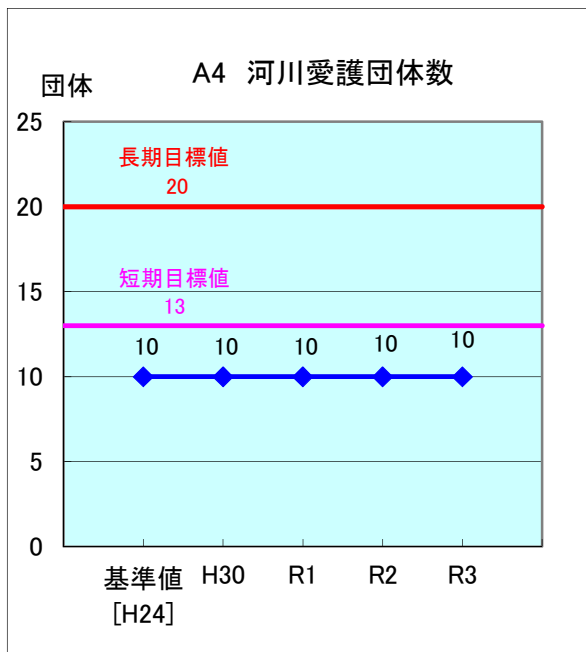
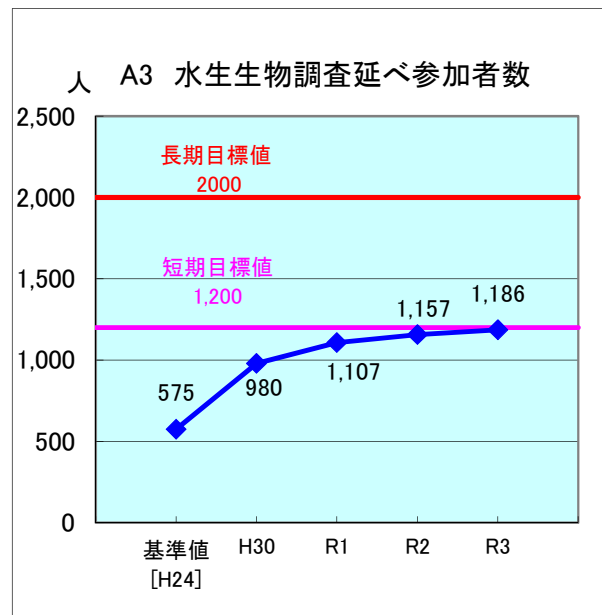
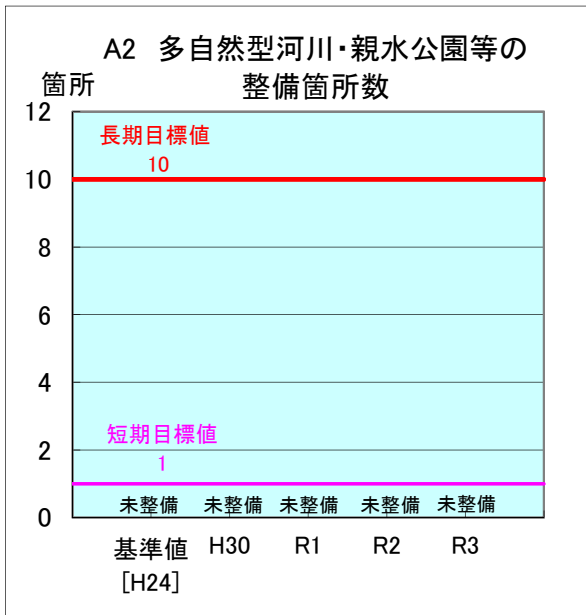
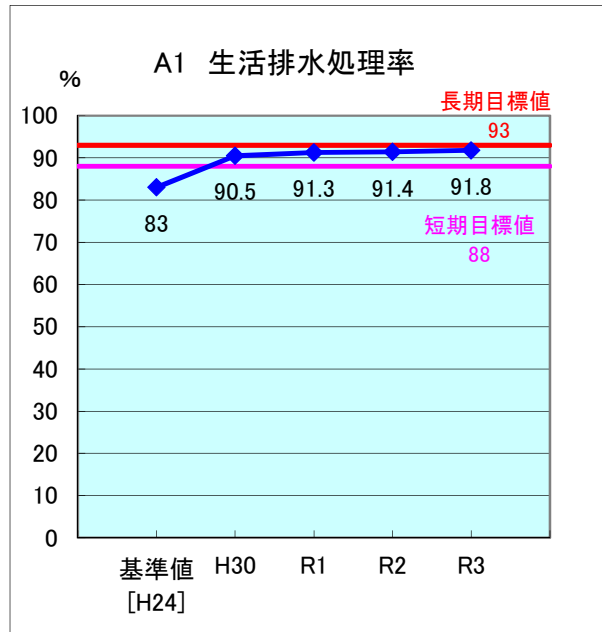
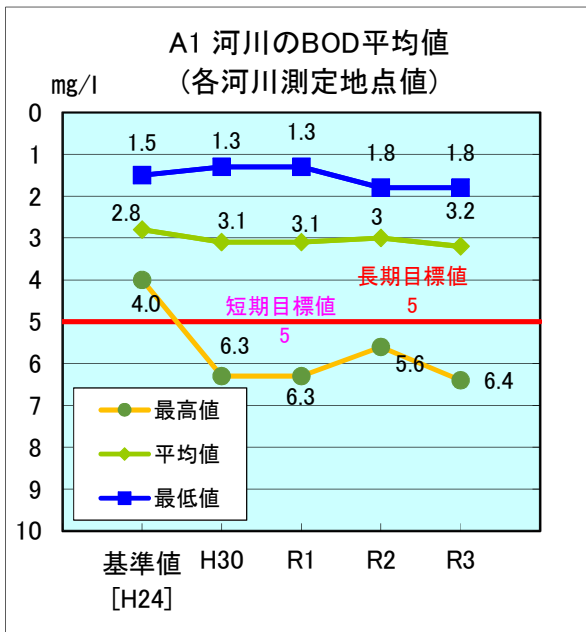
【令和3年度の結果と今後の展開】

河川の汚濁の程度を示すBOD(平均値)は、例年と比較して大きな変化はありませんでした。

生活排水に関する取組としては、公共下水道整備が進捗したこと、供用開始済エリア内での未接続の住民等に対する下水道への接続依頼をしたことなどにより生活排水処理率は、増加しています。また、生活排水からの汚濁負荷量を削減するために、くみ取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進めるための補助制度の周知啓発を行いました。

川や池へ遊びに出かける子どもたちの姿が多く見られ、水生生物調査延べ参加者数は、増加しています。

今後も河川の状況を注視するとともに、水質保全や美化意識の向上を図るため、ESD講座やアダプトプログラム、公共下水道の整備などの取組を継続して進めていきます。



A. 川や池の水と水辺

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課	
A-1 川や池の水をきれいにする	1、排水をきれいにしてから流す	公共下水道の整備	継続	・赤池町箕ノ手・モチ口の各一部、藤枝町奥廻間の一部、折戸町梨子ノ木の一部を整備し、普及率は78.2%(+0.7%)となった。	下水道課	
		合併処理浄化槽の普及促進	継続	・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の際、補助金を交付した。[3件]	環境課	
		事業所排水対策の推進	継続	・市内事業所へ適切な排水対策をするように周知した。 ・公害防止協定締結事業所の集中浄化槽(4箇所)の17項目の水質調査を実施した。	環境課	
		家庭生活排水対策の推進	継続	・天ぷら油の吸収材や家庭でできる生活排水の汚れを少なくする対策についてのチラシ等を窓口にて配布した。 ・令和元年度に供用開始したエリアに対し、下水道への接続依頼を行った。	環境課 下水道課	
	2、農地から流入する汚れを少なくする	環境調査の実施	継続	・河川の水質調査を実施した。[10地点、2ヶ月に1回] ・ため池の水質調査を実施した。[11地点]	環境課	
		低農薬の推進	継続	・農協による水稻栽培指導の中で、農薬について指導した。	農政課	
	3、川や池の自然浄化力を高める	環境浄化液、多孔質素焼陶器、竹炭などの活用による水質浄化	継続	未実施	環境課 土木管理課	
	A-2 川や池の水量・流れ・生き物を豊かにする	4、水源域の保水力を高め、地下水を保全する	保水性の高い農地・山林等水源域の保全	継続	・令和2年度に改定した緑の基本計画において、緑の取組の1つに「ビオトープ等、水とみどりのネットワークの創出を図り、生物多様性に配慮する」と記載 ・日進市開発等事業に関する手続条例により保全している。	都市計画課 農政課
			透水性舗装の推進(重複記載F-2施策3)	継続	未実施(過去の取組) ・歩道整備において、透水性舗装を使用した。(令和2年度:五色園325㎡、令和元年度:竹の山292㎡、H30年度:赤池826㎡)	道路建設課
		5、淵と瀬、流路など豊かな流れを創出し、生き物が棲みやすい生息環境にする	多自然型河川整備、川の豊かさの基準づくり	継続	・河川の草刈を行い、生き物が棲みやすい、良好な自然環境を維持している。	土木管理課

A. 川や池の水と水辺

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
A-3 川や池を楽しみ守る場と意識を育む	6、楽しく魅力的な場所をつくる	親水公園など自然や水辺とふれあうことのできる環境整備	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に改訂した緑の基本計画において、緑の取組の1つに「イベント開催等、河川やため池を活用した水空間の創出を図る」と記載 ・岩崎川堤防道路基本計画(平成26年度)を策定し、水と緑の軸を創り出すことを目指している。 (過去の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度～平成25年度に愛知県、市、地域(岩藤区、北新区)と協働して、岩崎川上流約1kmにおける植樹、育樹を行った。 	企画政策課 環境課 都市計画課 道路建設課
		自然環境に配慮した散策路の整備	完了	<ul style="list-style-type: none"> ・天白川堤防道路「ニッシーそよ風ロード」をカラー舗装にした。(平成25年度完了) 	道路建設課
	7、楽しみ守る人の輪を広げる	分野別計画「L. 遊びと学び 1、水に関する環境共育の推進」に記載			
A-4 川や池にごみがないようにする	8、ごみを捨てさせないようにする	不法投棄を防止する対策の推進(重複記載 J-4施策8)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の啓発看板を配布した。[配布数:49枚] ・多発エリアには監視カメラを設置した。[延べ18箇所] 	環境課
	9、捨てられたごみを拾う	ごみゼロ運動等ごみ拾い活動の定期的な実施	継続	未実施 [新型コロナウイルス感染症予防の観点からごみゼロ運動を中止した。]	環境課
		日進市公共施設アダプトプログラム(里親制度)の推進(重複記載 E-1施策1)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体が河川、道路などで草刈りや植栽等の活動を行った。[新規:3団体、継続:25団体] 	環境課
	地域清掃の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で清掃活動団体等に地域清掃袋を配布した。[可燃袋:16,430枚、不燃袋:2,690枚] 	環境課	

B. 水の風景・水資源



この分野は、「水」に関わる要素のうち、水に関する風景、すなわち川、池、水田などの保全および水の資源としての湧水、雨水などを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	身近で水に親しめる場所があると思う市民の割合	34.5	%	36.0	33.5	未達成	42

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

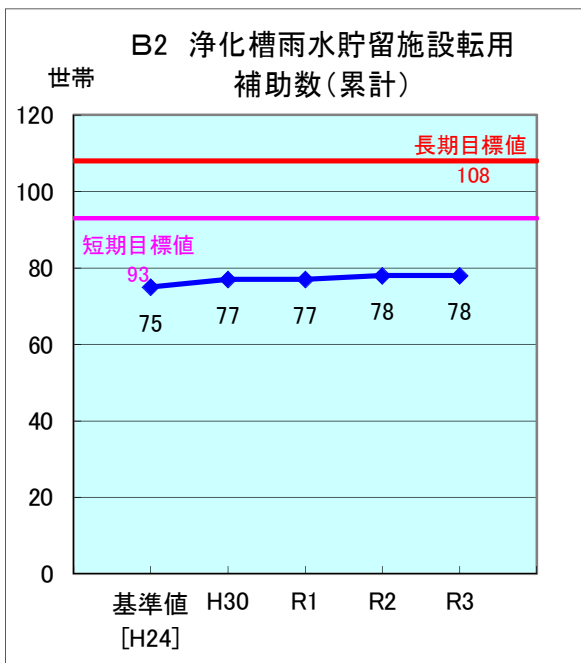
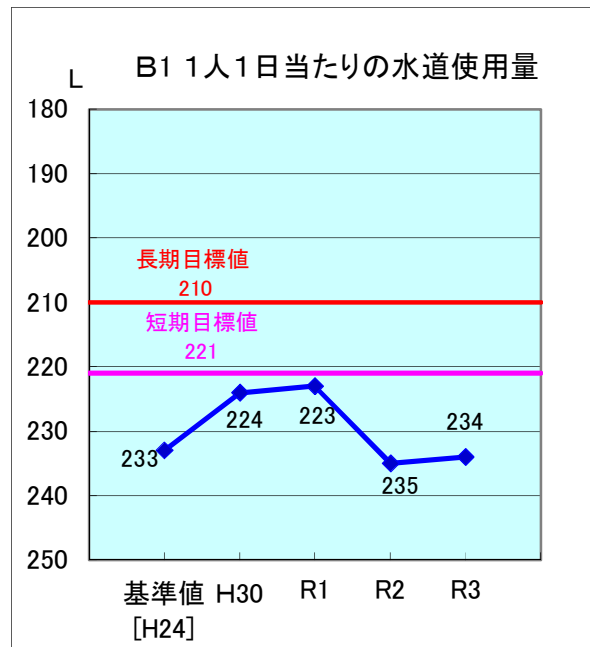
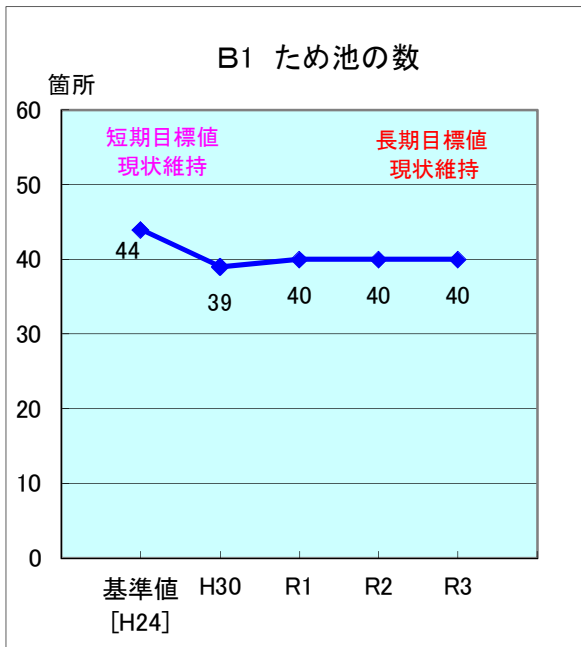
進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
B1	ため池の数	44	箇所	39	40	40	40	未達成	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	233	L	224	223	235	234	未達成	210(10%減)
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	75	世帯	77	77	78	78	未達成	108

【令和3年度の結果と今後の展開】

家庭における1人1日当たりの水道使用量は、昨年度と同程度の使用量となりました。昨年度同様、ステイホームや在宅勤務など家にいる機会が多かったことなどによるものと思われます。

水資源の有効利用のため、浄化槽雨水貯留施設転用のPRを行いました。補助金交付実績はありませんでした。下水切り替え工事の際に浄化槽を雨水貯留施設に転用することの経済的負担が大きいことが、雨水貯留施設への転用が進まない要因となっています。

貴重な水資源を有効活用するため引き続き、市のホームページや広報、講座等を活用して、節水意識の普及啓発に力を入れています。



B. 水の風景・水資源

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
B-1 身近な水風景 を守り育む	1、水風景の資源となっている川・池・水田を保全する	ため池保全計画の策定	継続	未実施 [地域と連携する等、必要に応じて除草・修繕等を行っている。]	農政課
		ため池の公園化の推進	継続	・機織池の緑地にて「機織池周辺の森愛護会」が公園等愛護会として活動している。	都市計画課 農政課
	2、より豊かな水風景を守り育む人の輪を広げる	分野別計画「L. 遊びと学び 2、緑に関する環境共育の推進」に記載			
	3、安定的な水供給の支援を図る	災害時の水道施設復旧状況等の周知	継続	・愛知中部水道企業団が開催する防災訓練に参加した。 ・市のHPに愛知中部水道企業団のHPをリンクさせ、節水への呼びかけを行っている。	下水道課
		節水意識の普及啓発	継続	・各ESD講座の冒頭で、今日からできるSDGsアクションとして節水行動の普及啓発を行った。 ・にっしん省エネ倶楽部事業の小学生を対象とした子ども省エネ教室において、節水行動を呼びかけた。	環境課

B. 水の風景・水資源

環境まちづくり プログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
B-2 貴重な水資源 を大切にす	4、雨水の有 効利用を進め る	浄化槽雨水貯留施 設転用補助	継続	・新規に下水道管理設工事を行うエリ アの住民等に配布する資料や広報でP Rした。 ・浄化槽雨水貯留施設転用補助金のH Pで雨水利用のメリットを紹介した。	下水道課
		雨水利用の促進	継続	・新規に下水道管理設工事を行うエリ アの住民等に配布する資料や広報でP Rした。 ・浄化槽雨水貯留施設転用補助金のH Pで雨水利用のメリットを紹介した。	環境課 下水道課
	5、災害時にも 役立つ湧き 水・井戸を保 全する	湧き水・井戸水マッ プを作成し、災害 時利活用する	継続	未実施 [マップの作成には至っていないが、取 水する水源については、最寄りの非被 災水道事業者と協議の上確保し、これ によることが不可能な場合は比較的汚 染の少ない井戸水、河川等をろ水機に よりろ過したのち、塩素剤により滅菌し て給水する計画はある。]	防災交通課 環境課

C. 里山と息づく動植物



この分野は、「緑」に関わる要素のうち、里山とそこに息づく動植物を対象としています。里山とは、様々な人間の働きかけを通じて形成された樹林地を指し、多様な環境保全機能を有しています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	身近で緑にふれあえる場所があると思う市民の割合	75.8	%	78.4	77.7	未達成	82

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
C1	森林面積	654	ha	631	631	630	630	達成	593以上維持
C2	里山保全活動拠点数	6	箇所	6	6	6	6	未達成	10
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	9	種	9	9	9	9	未達成	10
C4	日進自然歩道延長	5	km	6.8	6.8	6.8	6.8	未達成	30

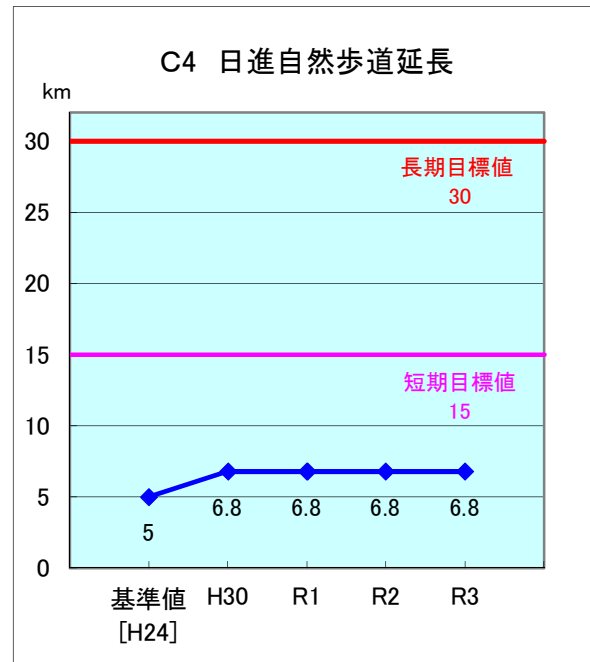
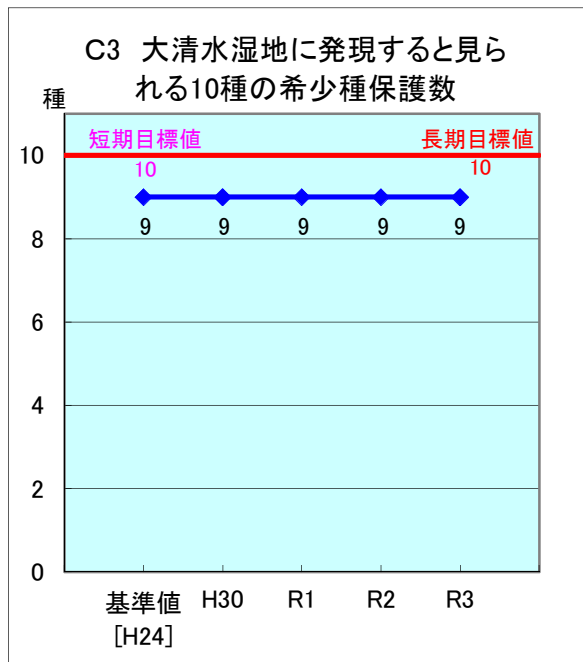
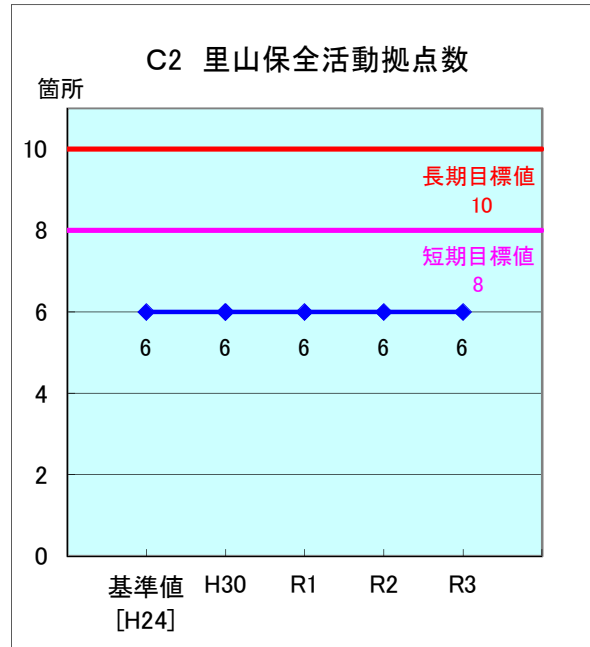
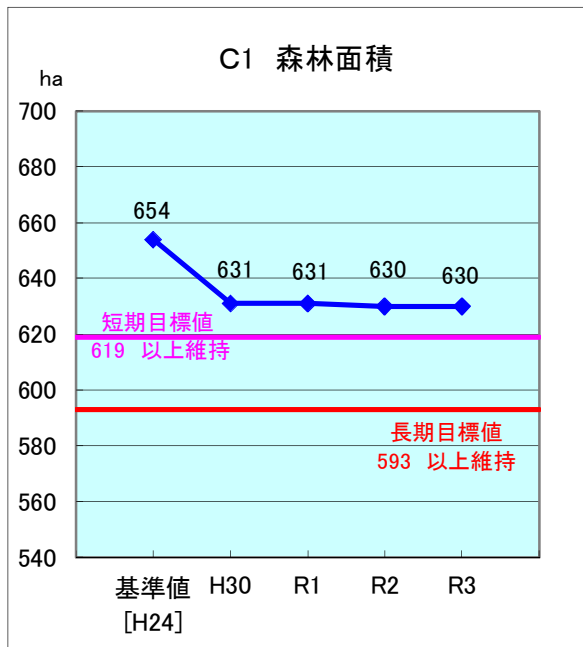
【令和3年度の結果と今後の展開】

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に中止したイベントを実施するなど安全対策に配慮しながら自然と触れ合う機会の創出に努めました。また、里山の生態系及び環境保全機能の保全のため、適正な環境整備を実施しました。

イノシシ等鳥獣害対策として、箱罾へのセンサー設置、農作物防護柵補助を行うことなどにより農作物被害の減少や住宅地付近への出没防止のための事業を進めました。

里山保全活動について、担い手育成が課題としてあるため、まずは里山と触れ合う機会の創出等に重きを置いて推進していく必要があります。

今後も市民や市民団体等と協力しながら、希少な動植物の保護や里山保全の重要性を学ぶ講座等を開催し、引き続き里山保全につながる仕組みづくりを進めていきます。



C. 里山と息づく動植物

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
C-1 天白川源流の地「東部丘陵」を守り育てる	1、公立の自然公園の実現をめざす	自然環境を守るための仕組みづくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD講座として、様々な環境講座を実施し、その中で東部丘陵の重要性について説明した。[参加者:36名] ・大清水湿地の公開を行い、自然環境に触れ合う機会を創出した。[来場者:24人] 	環境課 都市計画課
		東部丘陵の環境保全型自然公園整備	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に県事業により、池の南東部分に管理用通路の整備を行い、岩藤新池1期地区工事としては完了。第2期地区工事の要望を継続して行う。 ・岩藤新池の散策路周辺の除草を行った。 	都市計画課
	2、東部丘陵の自然を活かす利活用を進め良さを広める	東部保全基金の募金活動及び有効な利活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所総合窓口で募金箱を設置し、支援を呼びかけた。 	都市計画課
		市民による環境保全監視パトロールと環境基金制度の実施	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等と協力して、不法投棄の監視等を行った。 ・地域住民(岩藤区)が監視員となり、定期的な巡視を行った。 	環境課 都市計画課
C-2 里山を自然豊かな場としてできる限り残す	3、開発と保全に関する規制・話し合いの機会をつくる	里山保全条例づくり検討	継続	<ul style="list-style-type: none"> 未実施 [市が管理する北高上緑地を市民団体に運営・管理委託し、適切な里山保全の方法を研究した。] 	都市計画課
	4、手入れするなど里山としての価値を高め、地権者や市民が里山を残したくなるようにする	地域学習林の整備・利活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を行い、小学校で学習活動の一環として活用した。 	学校教育課
		里山保全のための仕組みづくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・シイタケ栽培体験、竹炭作り等の北高上緑地里山体験イベント、里山保全実践講座を開催し、里山に触れ合う機会等を創出した。[里山体験イベント:221名、里山保全実践講座:72名] 	都市計画課

C. 里山と息づく動植物

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
C-3 大切にしたい動植物を守り育む	5、希少な動植物とその生息・生育環境を守る	絶滅危惧種、希少種、天然記念物の保護対策	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・希少種が生息できる自然環境を保全することの重要性を学ぶESD講座を開催した。[参加者:110名] ・市内の野生動植物の生息生育状況を把握するため、自然環境調査を実施した。 ・大清水湿地にて、市民団体の協力の下、湿地植物の保護に努めた。 	環境課 都市計画課 生涯学習課
		特定外来種駆除の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市HP、広報、環境まちづくりサポーターズ会員向けメール配信で、オオキンケイギク等特定外来生物の情報を掲載し、周知した。 ・公共の用地に群生しているオオキンケイギクの駆除を行った。 ・アライグマ、ハクビシンの駆除を行った。 ・日進市鳥獣被害防止計画に基づき猟友会、農協と連携する等農作物等の被害にあった場所に箱わなを設置した。 	環境課 農政課
		外来生物等防除と鳥獣害対策	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物等防除と鳥獣害対策として、捕獲し、駆除を行った。[イノシシ41頭、アライグマ25頭、ハクビシン27頭] ・農作物防護柵補助を行った。[2件] 	環境課 農政課
	6、土地利用や開発行為において生態系へ配慮する	生物多様性地域戦略の検討	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の改定に合わせて環境基本計画に盛り込むことを検討している。 	環境課
		生物多様性の保全に向けた仕組みづくり	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・都市マスタープラン・緑の基本計画改定版(2021年3月)に、生物多様性の保全に関する内容を記載した。 	環境課
	C-4 里山や動植物を楽しみ守る場と意識を育む	7、楽しく遊び学べる機会をつくり、守る人の輪をつくる	分野別計画「L. 遊びと学び 2、緑に関する環境共育の推進」に記載		

D. 農のある暮らし



この分野は、「緑」に関わる要素のうち、緑地としての農地、それを支える農業、市民のそれらに関連するあらゆる農のある暮らしに関するものを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	市内で農業体験をしたことのある世帯の割合	19.2	%	21.0	20.7	未達成	32

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
D1	農地面積	470	ha	454	449	441	433	未達成	452以上維持
	休耕田の面積	56	ha	41.9	38.3	43.7	40.5	達成	41
D2	学校給食における地場産物の使用率	57.7	%	47.9	55.9	51.4	53.6	未達成	60
D3	市民菜園区画数	1,111	区画	1,303	1,303	1,231	1,231	未達成	3,000

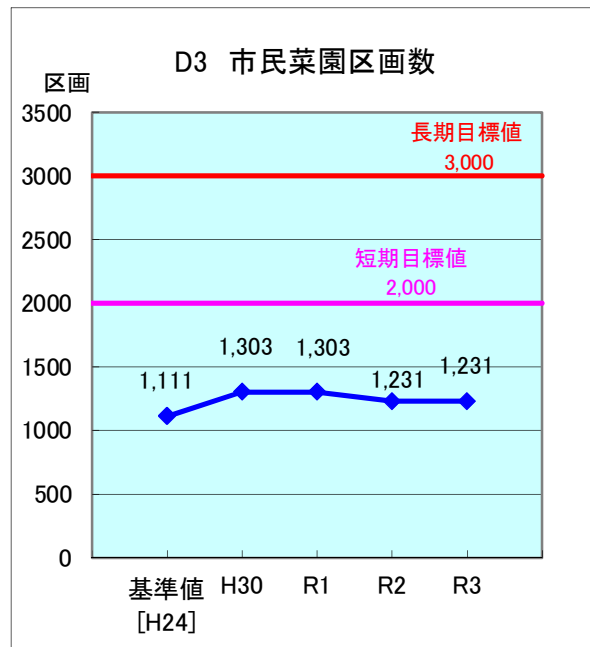
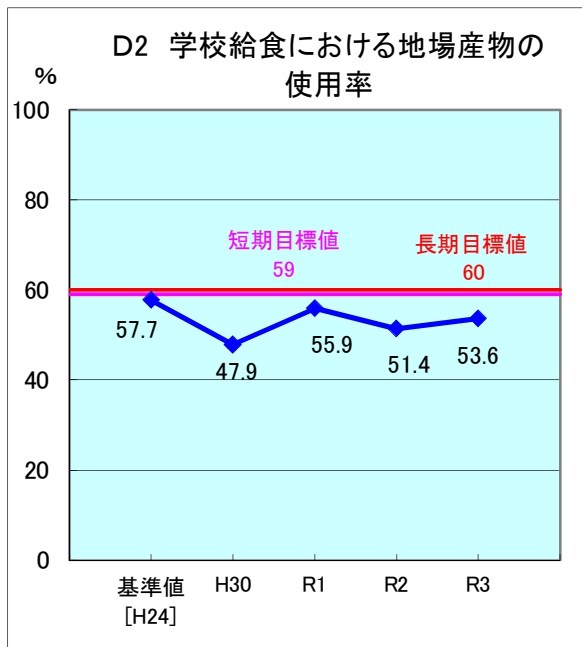
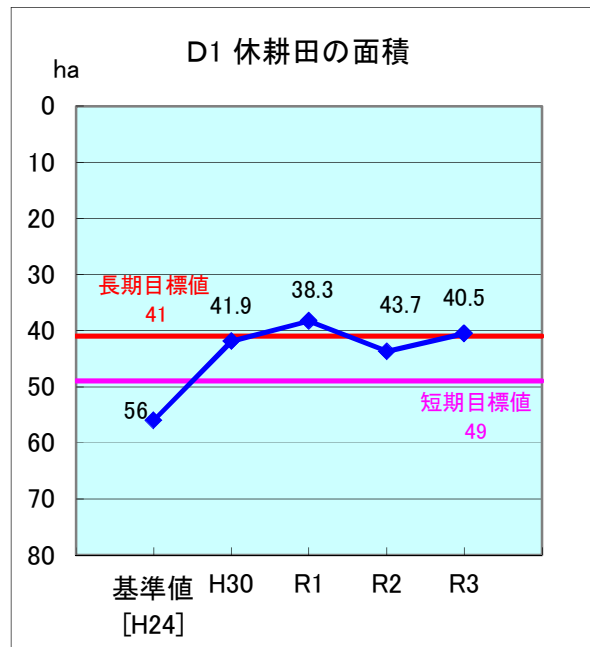
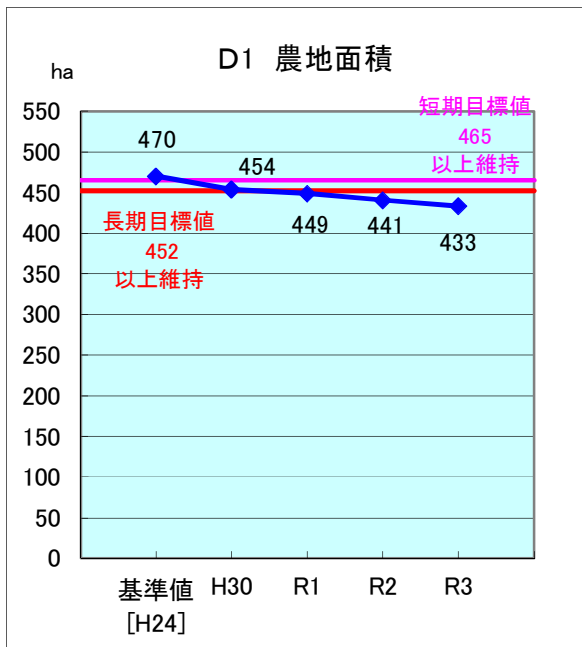
【令和3年度の結果と今後の展開】

市内で生産された農産物を活用して6次産業化に取り組む農業者等を支援するために、新たに6次産業化支援事業補助金を交付しました。

農業者支援や市民の農への関心を高めるため、引き続き営農用機械の導入に伴う補助金の交付や日進アグリスクールの開催を行いました。

日進市の豊かな農について知り、農を身近に感じ、体験し、農に関わる楽しさ、大切さを伝え、日進市の豊かな農のある環境を守っていくための取組として、農業者やNPOなどによる親子で体験できる米作りや野菜作りの農業体験プログラムや地元農産物を使用した伝承料理講座が開催され、新たな農産物の6次産業化の取組として、和菓子屋とコラボし、日進市のもち米「こはるもち」を使用した商品を発売しました。

農業者の高齢化や担い手の減少、耕作放棄地の増加などが課題となっています。農地の集積・集約化、農産物の価値の向上、農業者の所得向上、支援事業の拡大による活性化が必要であり、これらのための継続的な取り組みを進めていきます。



D. 農のある暮らし

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課	
D-1 農地・農業を 守り育てる	1、開発と保全に関する規制・話し合いの機会をつくる	都市計画法・農業振興地域の整備に関する法律でのゾーニングの整理	継続	未実施 [都市マスタープランで農地・農業振興ゾーンとして土地利用を推進]	都市計画課 農政課	
	2、農業経営・生産の安定化を進め、後継者を育てる	農業後継者や新たな担い手の発掘・育成		継続	・専業農家を目指す青年新規就農者の就農支援、営農組合・集落営農組織等の支援及び立上げ支援を行った。日進アグリスクールで新たな担い手を育成した。	農政課
		農地バンク制度等の推進		継続	・広報・HP等と、日進アグリスクール修了生に対して制度を周知した。利用権設定による新規就農は2件	農政課
		6次産業化の推進		継続	・日進アグリスクール6次産業体験コースを開催し、6次産業の啓発を図った。 ・日進市6次産業化支援事業補助金を交付した。[3件]	農政課
		転作の促進		継続	・県からの需給調整に基づき、適正な水稲作付を行った。 ・転作を行った農家に補助金を支給した。[242戸]	農政課
		農作業の集積・機械化による効率化の支援		継続	・営農の中心的役割を担う農協や農事組合法人が地域農業の効率化等のために導入した農業用機械に対し補助を行った。[6件] ・農協や農事組合法人等による農地の集積について支援をした。	農政課
		特産品の開拓の推進		継続	・農業者と新しい特産品開発のために必要な農地の選定を行った。 ・農業者・福祉団体・商業者等と得意分野を活かしたワンチームによる特産品の検討を行った。	農政課
	3、休耕田、耕作放棄地の利用を進める	田園フロンティアパークの整備		継続	・市民農園6園の管理運営を行った。	農政課
		市、農協などの事業者、農家などが管理する市民農園の拡大		継続	・市及び民間による市民農園を整備した。[新規:0区画、継続:1,231区画]	農政課
		景観形成作物栽培の支援		継続	・農振農用地の田で、景観形成作物(コスモス)を栽培した農家に補助金を支給した。[2戸]	農政課

D. 農のある暮らし

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
D-2 環境や食の安全に配慮した農業を進める	4、有機農業や地産地消を進める	販売店などへの地元産農産物を置く働きかけ	継続	・マックスバリュ米野木店、コープあいち日進店、イトーヨーカドー赤池店(プライムツリー赤池内)、セブンイレブン(竹の山、赤池、北新、本郷、梨子の木、三本木、野方)で日進産農産物の販売を行った。	農政課
		循環型農業の推進	継続	・有機農業に取り組む農業者に補助金を支給した。[2件] ・有機農業に取り組む農業者の農産物を保育園給食で使用し、あわせてPRチラシを配布した。	農政課
		地元産品の消費者へのPR	継続	・日進野菜研究会が毎週日曜日に行う朝市を支援した。 ・広報で毎月、農業者を紹介した。また、地元農産物の販売場所を紹介した。 ・ふるさと納税返礼品で多くの地元産品をPRした。	農政課
		食育の推進	継続	・第3次日進市食育推進計画に基づき、市担当部署、農協、大学、NPO等が連携し、情報共有を図り、事業の検討、精査をした。 ・第4次愛知県食育推進計画が、令和2年度に策定されたことを受けて、第3次日進市食育推進計画を見直した。 ・広報・HPで隔月、季節の伝承料理レシピを紹介した。 ・地元農産物を使用した伝承料理の普及啓発のための講座の開催を支援した。	農政課
		市内産のお米や野菜等を使った給食の実施	継続	・市内産の農産物として、米飯(週4回程度)は主に「あいちのかおり」を151回(96,461kg)、野菜は、大根、白菜、たまねぎ等 17種類(9,960kg)を使用した。	学校給食センター
D-3 市民の農のある暮らしとその魅力を広める	5、農のある暮らしを楽しめる農業公園をつくる	田園フロンティアパークの整備(農業レストラン、特産市、貸し農園等)	継続	・本郷農園の管理運営を行った。 ・日進アグリスクール家庭菜園コース、6次産業体験コースを実施した。 ・NPOによる希少種のもち米の栽培を行った。	農政課
	6、農のある暮らしを楽しみ守る人の輪を広める	分野別計画「L. 遊びと学び」に記載			

E. 緑のネットワーク



この分野は、「緑」に関わる要素のうち、市街地の緑を創出し、それらの緑の点を里山の緑から線で結びネットワーク化するための取組に関するものを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	緑化の推進に対する満足度	49.2	%	47.4	42.2	未達成	59

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
E1※1	緑地率 (緑被率)	41	%	41	38	38	— (31)	未達成	39 確保
E2	公園等愛護会活動公園数	51	箇所	61	60	63	65	未達成	84
E3	市民に開放された樹林地箇所数	14	箇所	15	15	15	15	未達成	50

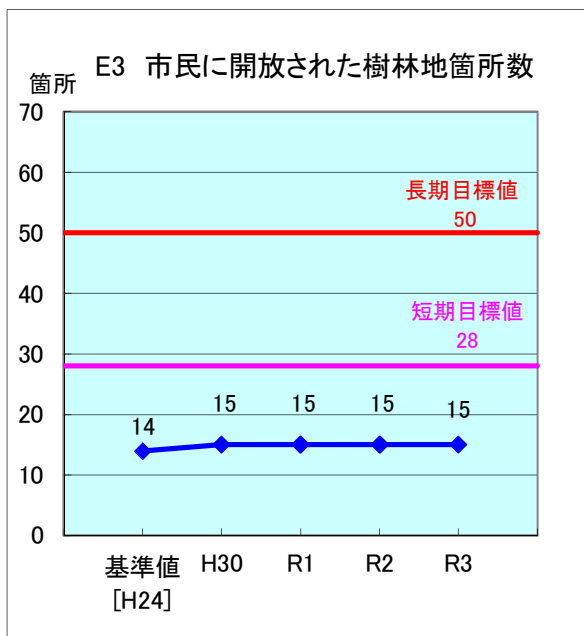
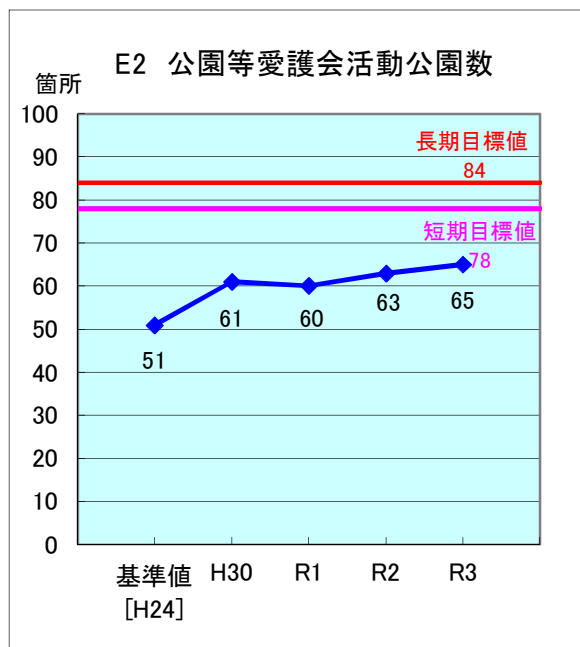
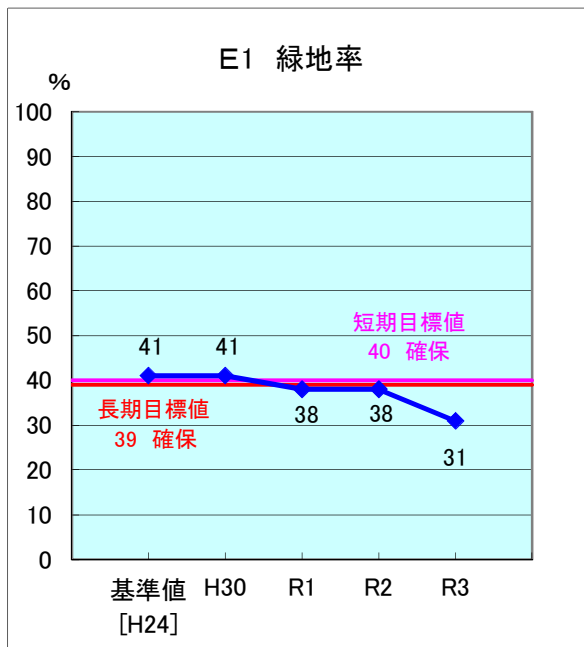
※1 令和2年度まで用いてきた緑地率((施設緑地(ha)+地域制緑地(ha))/都市計画区域面積3,491(ha)×100)は、市において民間施設緑地率が把握できないことから、緑の基本計画が緑地率の代替として緑被率を用いることとしたことにあわせて、緑被率((農地及び森林(ha)/市域面積3,491(ha)×100)国・県による統計資料により算出)に変更しました。緑地率と緑被率は算出方法が異なり、比較できるものではないため、緑被率の数値は、参考数値となります。

【令和3年度の結果と今後の展開】

公園等愛護会活動公園数は、増加傾向にあるものの土地区画整理事業等による住宅開発により緑地率(R3より緑被率)は、減少傾向にあります。

本市は、今後も人口増加を続けることが想定され、そのことはまちの活力となるものです。

今後も令和2年度に改定を行った緑に関する指針となる緑の基本計画に基づき、民地における優良な緑化事業に対する補助金交付の実施など開発と緑の保全の調和を図りながら緑のまちづくりを推進していきます。



E. 緑のネットワーク

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
E-1 「線」で結ぶ公共用地の緑化を進める	1、道沿いの緑化を進める	植栽可能路線の調査、実施検討	継続	・枯れ木を撤去した植栽スペースや空きスペースに樹木の植樹を行った。	土木管理課
		日進市公共施設アダプトプログラム(里親制度)の推進(重複記載 A-4施策9)			
	2、川沿いの緑化を進める	天白川・岩崎川沿いの散策コースとポケットパーク等の整備	完了	・天白川堤防道路「ニッシーそよ風ロード」をカラー舗装にした。(H25年度完了) ・岩崎川堤防道路基本計画を策定した。(H26年度)	環境課 道路建設課
		水辺の緑の回廊の推進	継続	・草刈等の維持管理工事を実施した。 (過去の取組) ・平成18年度～平成25年度に愛知県、市、地域(岩藤区、北新区)と協働して、岩崎川上流約1kmにおける植樹、育樹を行った。	
E-2 家庭、事業所などの「点」の緑化を進める	3、家庭・地域・学校・事業所・公共施設における緑化を進める	オープンガーデンや花いっぱい運動等の推進	継続	・花いっぱい運動を実施した。[地元区を含む8団体]	都市計画課
		市民や事業所による緑を守り育てる活動のリーダーの育成、活動支援	継続	・外部講師を招き、里山保全実践講座(3回連続)を実施した。	都市計画課
		公園愛護会等、緑化推進団体の活動支援(重複記載 G-1施策2・K-1施策2)	継続	・公園等愛護会に対して、年2回花づくりの資材提供を行った。	都市計画課
		緑化木を配布する等、市民が地域の緑を増やす活動の推進	継続	・家庭や事業所の緑化を推進するため、ゴーヤやアサガオ等の苗を緑のカーテン用資材として配布した。 ・民地における優良な緑化事業に対し、補助金の交付を行い、緑化の推進を図った。 ・日進アグリスクールにおいて農の担い手を育成し、また、NPOと連携して農に親しむプログラムを実施した。 ・農協と連携し、プランターで野菜づくり講座を開催した。	環境課 都市計画課 農政課

E. 緑のネットワーク

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
E-2 家庭、事業所などの「点」の緑化を進める	3、家庭・地域・学校・事業所・公共施設における緑化を進める	事業所、公共施設等の建物緑化	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎北側花壇及び北庁舎花壇の管理を行った。 ・公共施設において緑のカーテンを実施し、建物緑化に関するきっかけ作りを行った。[市役所北庁舎、各福祉会館(6)、小中学校(10)、保育園(9)、その他の公共施設(11)の合計37箇所] 	財務政策課 環境課
E-3 緑あふれる暮らしとその魅力を広める	4、緑化を楽しむための機会・人の輪をつくる	花作り講習会の開催	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等愛護会に対して、年2回花づくりの資材提供を行った。 ・市民を対象に寄せ植え教室等を年2回開催し、緑化意識の向上を図った。 	都市計画課
		花いっぱい運動の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動を実施した。[地元区を含む8団体] 	都市計画課
		分野別計画「L. 遊びと学び 2 緑に関する環境教育の推進」に記載			
	5、総合的な緑化のための制度を充実させる	緑化条例等制度の検討	継続	未実施 [「緑の基本計画」に基づき緑化保全を推進している。]	都市計画課

F. 生活環境



この分野は、「まち」に関わる要素のうち、日々呼吸している空気の質、空気の流れである風、さらにまちの上に広がる空の環境、自然の音環境など身近な生活環境を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	公害対策に対する満足度	33.8	%	37.9	38.7	未達成	52

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	100	%	100	100	100	100	達成	100
	エコドライブ宣言者数	-	人	774	857	925	972	未達成	4,000
	市所有自動車のエコカー導入率	57.8	%	52	51	51	51	未達成	100
F2	緑のカーテン延べ参加者数	558	人	970	1,032	1,108	1,194	未達成	2,000
F3	光害苦情処理件数	0	件	0	0	0	0	達成	0
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	125	件	75	61	107	87	達成	113

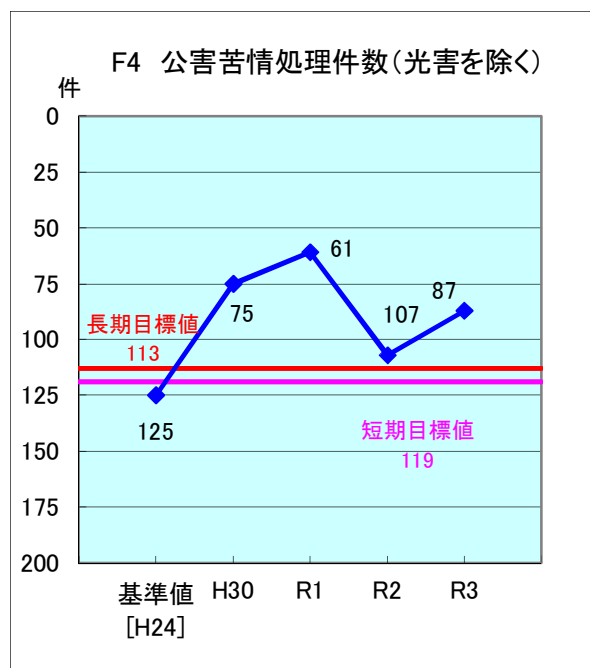
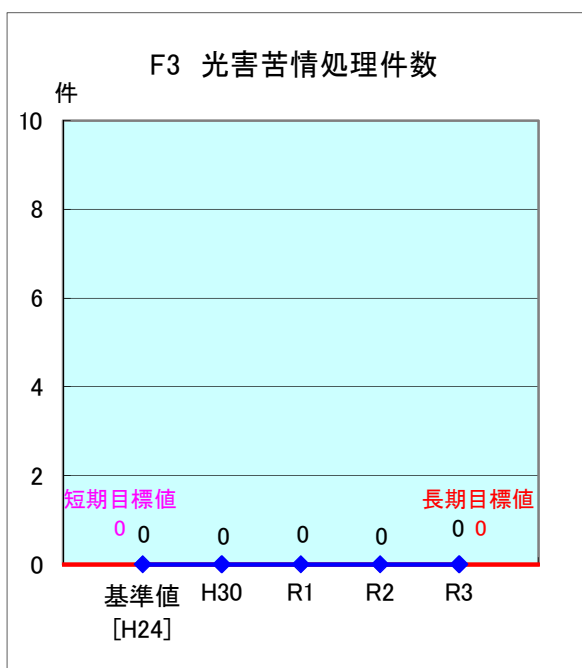
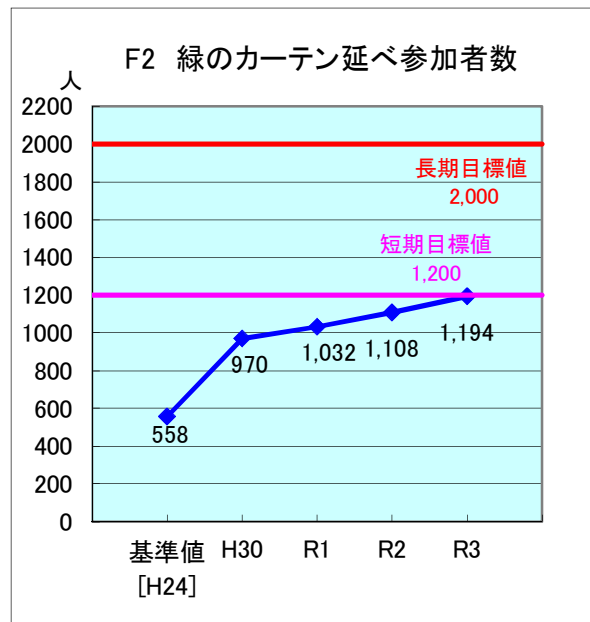
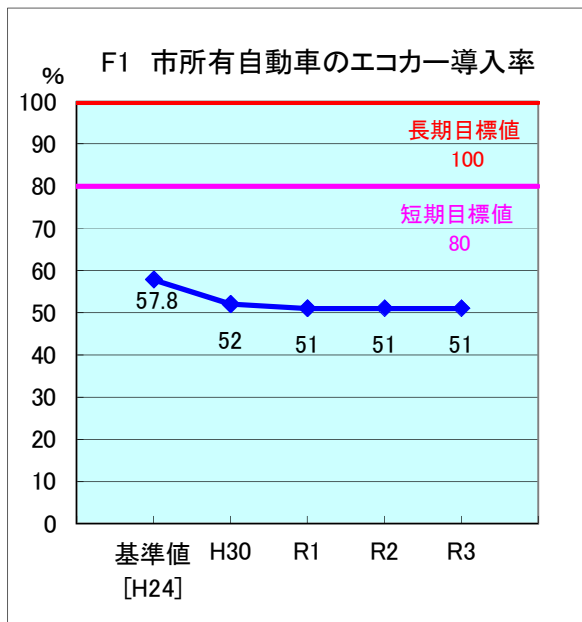
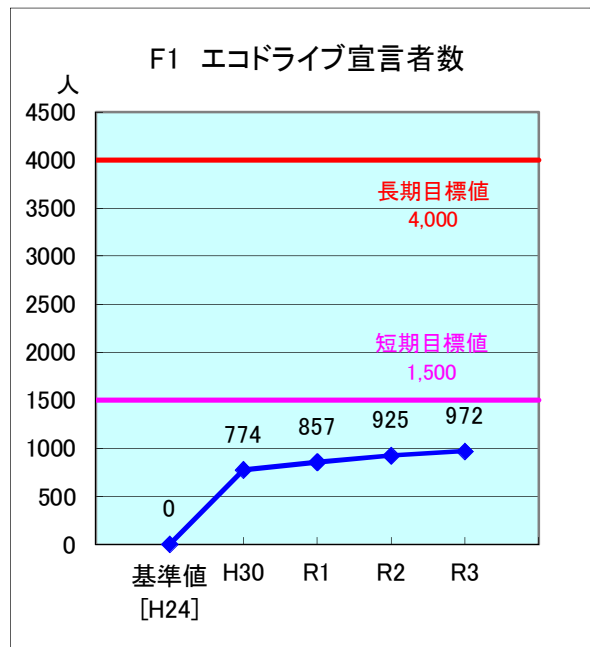
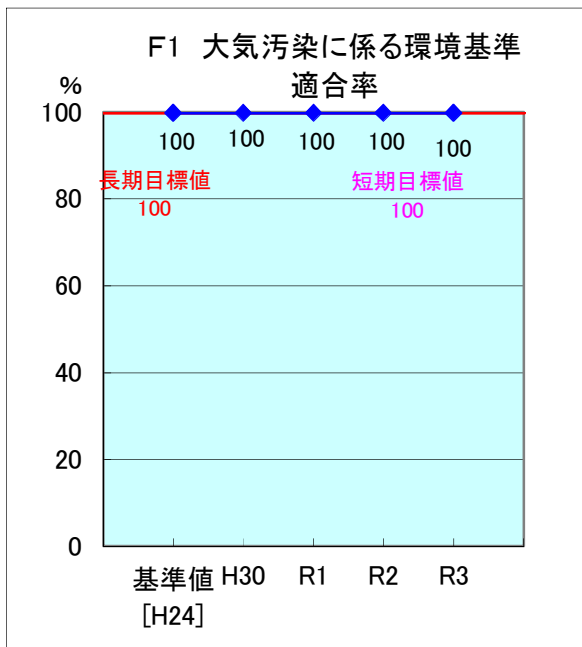
【令和3年度の結果と今後の展開】

公用車買替時にエコカーへ転換しているものの、エコカー導入率が横ばいとなっています。経済性を考慮しつつ、エコカー導入を推進していく必要があります。

電子申請システムを用いたことにより緑のカーテン延べ参加者数は、増加傾向にあります。引き続き緑のカーテン事業を推進していくとともにエコドライブ等の普及啓発を進めていきます。

令和2年度は、コロナ禍で在宅している市民が多くなったことなどにより、例年と比較して公害や野焼き、不法投棄等の相談が多く寄せられましたが、令和3年度は減少しました。

生活環境の美化の促進を図るため、従来のポイ捨て及びふん害の防止に関する条例に路上喫煙の防止に関する規定を追加整備しました。今後も生活環境の向上のため市民等への啓発・周知を進めていきます。



F. 生活環境

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
F-1 空気をきれいにする	1、工場・焼却場・野焼き等の大気汚染防止対策を進める	光化学スモッグ・微小粒子状物質(PM2.5)に係る注意喚起	継続	・県から予報等(光化学スモッグ)や注意喚起情報(PM2.5)が発令された際に、市内公共施設をはじめ、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に連絡する体制を整えている。[0件]	環境課
		野焼き等に関する指導、市民への周知徹底	継続	・野焼きの苦情に対応し、必要に応じて指導をした。[37件]	環境課
	2、エコカーの普及及びエコドライブの推進を図る	エコカー導入促進	継続	・12月に実施したエコモビ推進キャンペーンにおいてエコカー購入のPRをした。	環境課
		公用車のエコカー転換	継続	・公用車買替時にエコカーへ転換した。[1台]	財務政策課
		エコドライブ・アイドリングストップ運動の推進	継続	・県主催のエコモビ推進事業の広報活動を実施した。 ・環境まちづくりサポーターズ会員になる際に、エコドライブについて賛同していただいている。 ・COOL CHOICE普及啓発のため配布した「にしんクールライフノート」において、エコドライブ・アイドリングストップの推進を行った。	防災交通課 環境課
	F-2 気持ち良い風を生み出す環境を育む	3、まちの廃熱・蓄熱を減らし身近な緑・水面を守り育む	ヒートアイランド対策のPR	継続	・日進市地球温暖化対策地域協議会の事業の中で、緑のカーテンコンテストなどの地球温暖化対策に関する事業を実施した。
公共施設等の緑化推進			継続	・管理する施設内の花壇や緑地について、適切に維持管理を行った。 ・公共施設において緑のカーテンを実施し、建物緑化に関するきっかけ作りを行った。[市役所北庁舎、各福祉会館(6)、小中学校(10)、保育園(9)、その他の公共施設(11)の合計37箇所] ・図書館屋上及びふれあいの庭の緑化設置により、省エネルギーの推進を行った。	各施設担当課
透水性舗装の推進(重複記載A-2施策4)					

F. 生活環境

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
F-2 気持ち良い風を生み出す環境を育む	3、まちの廃熱・蓄熱を減らし身近な緑・水面を守り育む	緑のカーテンの推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・にっしん緑のカーテンコンテストを実施し、一般部門の参加者50名の中から、最優秀賞1名、優秀賞3名の合計4名を表彰した。 ・公共施設において緑のカーテンを実施した。[市役所北庁舎、各福祉会館(6)、小中学校(10)、保育園(9)、その他の公共施設(11)の合計37箇所] 	環境課
F-3 照明による環境への影響(光害)を減らす	4、屋外照明のあり方を見直す	環境省が定める光害対策ガイドラインの推進	完了	(過去の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度まで、環境省が推進してきたライトダウンキャンペーンを実施した。(日常生活の中で地球温暖化対策を実践する契機とすることについて定着してきていることから環境省の呼びかけは終了している。) 	環境課
F-4 身近な生活環境を守る対策と意識を育む	5、公害防止対策に努めます	騒音・振動・悪臭に係る規制地域及び規制基準の設定、指導	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、悪臭等に関する苦情に対し、法・県条例に基づき指導及び助言を行った。[4件] ・法・県条例対象外の相談にも、必要に応じて対応をした。[46件] 	環境課
		事業所との公害防止協定の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に既に締結している事業者との協定内容の再整備、協定未締結の大規模事業者への呼びかけ等を検討している。 [公害防止協定(環境保全協定)継続:8件]	環境課
	6、快適な住環境に努めます	マナー向上対策(ポイ捨て・フン害等)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・犬のフン害防止啓発看板を市民に配布した。[81枚。うち公共用地に8枚設置] ・猫侵入防止装置の貸出を行った。[40件] ・不法投棄防止の啓発看板を配布した。[49枚] 	環境課
		迷惑空き地対策	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・日進市空き地雑草等の除去に関する条例に基づき、雑草の繁茂等、空地の不良状態の改善を指導した。[156件] 	環境課

G. まちなみ・まちかど



この分野は、「まち」に関わる要素のうち、人々が住む市街地における建物や空間などを一体として考える「まちなみ」や、ちょっとした小空間、個別の建物の状況を意味する「まちかど」を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	まちなみや道路景観に対する満足度	34.3	%	35.3	37.8	未達成	45

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
G1	市民一人あたりの公園面積	9	m ²	8.7	8.6	8.5	8.5	未達成	10
G2 ^{※1}	事業所数	2,383	件	2,104	2,053	2,057	2,066	未達成	2,350
G3	まちなみ保存地区数	0	地区	0	0	0	0	未達成	2

※1 これまで記載していた事業所数に含まれる商店数は、市において事業所数の内訳を把握できないことから、項目を削除しました。

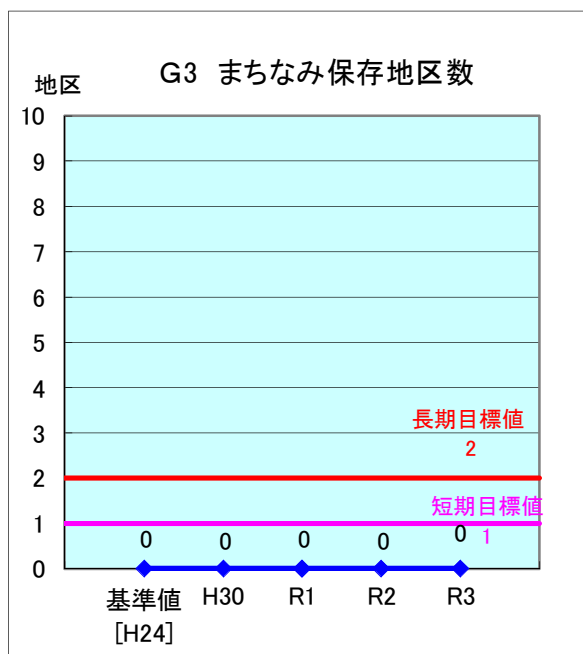
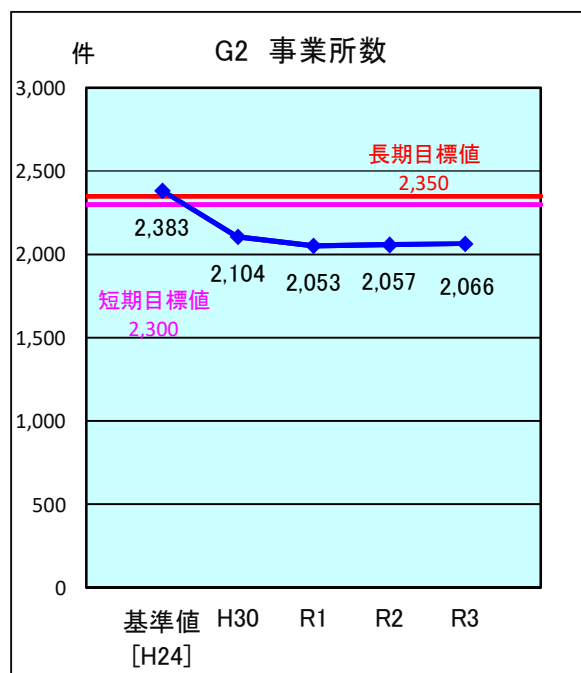
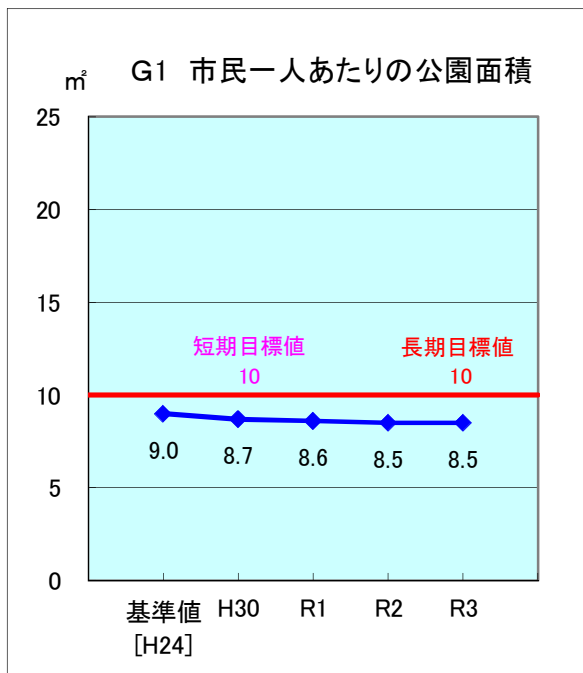
【令和3年度の結果と今後の展開】

まちの景観保全として、今後は、地域の状況に応じた地区計画を検討し、地域ごとのまちなみの誘導を行っていく予定です。

商業空間の再生と創造を進めるため、日進市小規模企業・中小企業振興基本条例の策定やプレミアム商品券発行事業等の小規模企業等振興施策を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組む飲食店の事業継続を応援するため、感染防止対策飲食店舗支援金やあいスタ認証取得店舗奨励金を交付しました。

今後も、策定した条例に基づいた小規模企業等振興施策やプレミアム食事券発行事業等市内小規模企業者等の事業継続のため、各種支援を実施していきます。



G. まちなみ・まちかど

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
G-1 市民が憩え、 楽しめる場を つくる	1、市の中心に シンボリックな 地区をつくる	緑と調和し、環境 負荷の少ない、に ぎわいのある中心 核の形成	継続	未実施 [緑の基本計画に基づき緑化保全を推 進している。]	都市計画課
		図書館の情報交流 拠点としての活用	継続	・入館者325,384人、貸出点数966,482 点 ・主催事業、図書館まつり等を開催し た。	図書館
	2、身近な地域 に気軽に寄れ る施設・広場を つくり育む	地域コミュニティ活 動の拠点となる集 会所等の支援	継続	・日進市地域コミュニティ推進事業補助 金(活動拠点管理事業及び地域集会所 建設等事業)の交付により、全19区 の集会所等の維持管理及び改築や備品 購入に対する補助を実施した。	市民協働課
		公園愛護会等、緑 化推進団体の活動 支援(重複記載 E-2施策3、K-1施 策2)			
		北高上緑地等の樹 林地の活用(重複 記載 K-1施策2)	継続	・市民団体に委託し、定期的な手入れ 及び講座等を行った。	都市計画課
		福社会館の利用促 進(重複記載 K-1 施策2)	継続	・利用者数(平日):91,203人[内訳 高 齢者:21,620名、児童:31,272名、一般: 38,311名] ・地域の住民が気軽に集う場所として の自由参加事業(子どもまつり1館)を 実施した。	福社会館
		学校施設の地域開 放(重複記載 K-1 施策2)	継続	・学校施設の地域開放を行った。[登録 団体数 68団体、開放回数 109回]	教育総務課
		ぷらっとホームの 推進	継続	・リーフレット等を活用し、ぷらっとホー ムを始めとするつどいの場のPRを行っ た。 ・ほっとカフェやふれあいいきいきサロ ンとの全体交流会を開催し、情報交換 を行った。[参加者延べ10,853人(前年 度比4,968人増加)]	地域福祉課
		まちなかギャラリー の推進	継続	・旧市川家住宅にて「中部大学第一高 等学校写真部の部(7/22~8/1開催)」 と「一般の部(10/14~10/24)」の2部 構成で開催した。市内在住・在勤・在学 者から、絵画・写真・工芸彫塑などの出 品があった。(中部第一写真部:37点、 一般の部60点)	生涯学習課

G. まちなみ・まちかど

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
G-2 商業空間の再生と創造を進める	3、身近にあってほしいお店を育みつくる	環境まちづくりに意欲的な事業者の支援	継続	・環境まちづくりサポーターズ制度パートナーシップ団体に登録した事業者のPRをHPで行った。[R3年度末:54団体] ・中小企業・小規模事業者等が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための「先端設備等導入計画」を認定することで、税制面での支援を実施した。	環境課 産業振興課
		環境まちづくりと一体となった商業活動の振興	継続	・中小企業・小規模事業者等が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための「先端設備等導入計画」を認定することで、税制面での支援を実施した。	環境課 産業振興課
G-3 親しみと安らぎのあるまちの景観を育む	4、まちの景観を考えた建築・整備を進める	景観基本計画の検討	継続	都市マスタープランで都市景観形成の方針により推進している。	都市計画課
		地区計画による地域まちづくりの推進	継続	・地区計画決定済みの6地区において、建築等の行為に先立ち届出を受け、適合確認を行った。[延べ121件] ・日進駅西土地地区画整理事業の進捗に伴い、緑化率を定めた地区計画の調整を進めた。	都市計画課
		すぐれた景観のPR	継続	・愛知県が平成19年に選定した「美しい愛知づくり景観資源600選」を市HPに公開しPRしている。[市内登録箇所:岩崎城址公園、岩崎川、岩藤新池、鶴思慕池、東部丘陵、日進市東部丘陵水源の森]	都市計画課
	5、古き良き景観を守り育てる	文化財の保存	継続	・国登録有形文化財である旧市川家住宅の保存・活用事業の他、市の指定文化財の保護事業を実施した。	生涯学習課

H. みちと足



この分野は、「まち」に関わる要素のうち、特に道路、歩道、自転車道など人が移動する空間である「みち」と、移動手段を意味する「足」のうち誰でも利用できる公共交通を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	自転車や徒歩による道路の利便性に対する満足度	21.6	%	22.5	24.2	未達成	33

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

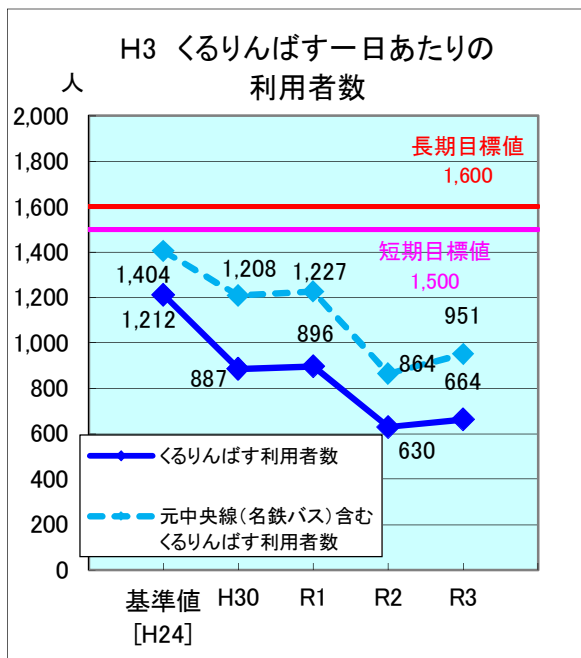
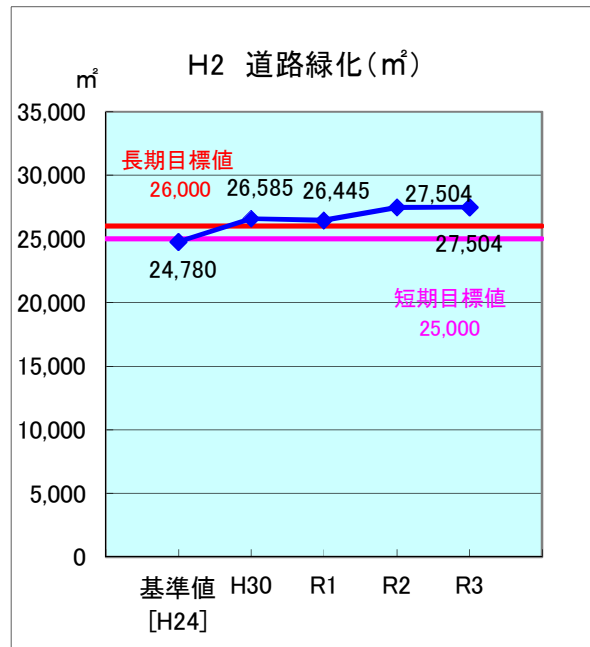
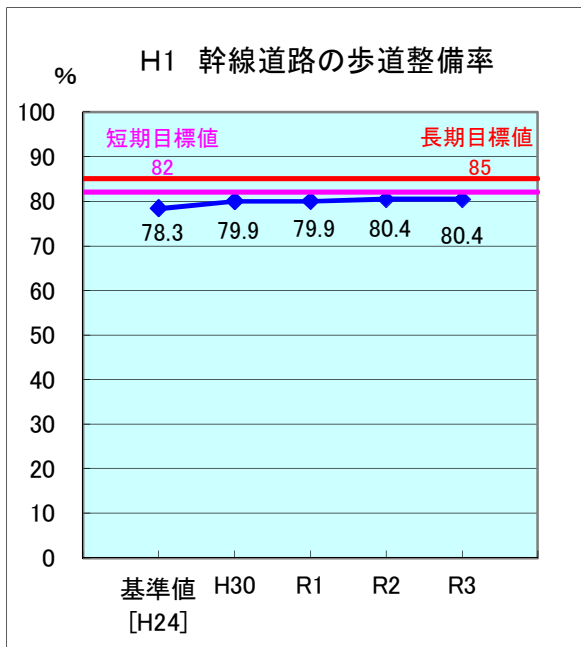
進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
H1	幹線道路の歩道整備率	78.3	%	79.9	79.9	80.4	80.4	未達成	85
H2	道路緑化(m ²)	24,780	m ²	26,585	26,445	27,504	27,504	達成	26,000
H3	くるりんばすの一日あたりの利用者数 (元中央線(名鉄バス)含む)	1,404	人	887 (1,208)	896 (1,227)	630 (864)	664 (951)	未達成	1,600

【令和3年度の結果と今後の展開】

前年度に引き続き、交通安全対策として通学路のカラー塗装を行いました。今後も道路及び歩道の適切な維持管理に努めます。

地域の公共交通については、「みんなが支える公共交通環境が、活力とにぎわいを生むまち」を基本方針とした新たな日進市地域公共交通計画を策定しました。この計画に基づき路線の改正等の事業を実施していきます。

コロナ禍においてくるりんばすの利用者数が減少していますが、環境にやさしい移動手段として、くるりんばすなどの地域公共交通の利用促進につながるイベントの開催や、エコ モビリティ ライフを推進していくため、引き続き周知啓発を行っていきます。



H. みちと足

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
H-1 歩道・車道を適正に整備する	1、環境と調和した適性な道路網とする	交通渋滞交差点の解消促進	継続	・赤池・浅田2号線において、右折待ち車両の渋滞を解消するために、道路改良工事に必要な用地買収のための物件調査を行った。	道路建設課
	2、市民ニーズに応じた歩道・自転車道をつくり育む	歩行者・自転車ネットワークの形成	継続	・赤池・浅田2号線において、歩道新設のための用地買収にあたり、物件調査を行った。	道路建設課
		交通安全施設(信号機、横断歩道等)の推進	継続	・北小学校区・南小学校区において、通学路にカラー塗装を設置し、歩行者通行スペースの確保や危険交差点の強調を行った。	道路建設課
H-2 誰もが快適に感じる歩道をつくり育む	3、季節を感じる歩道をつくり育む	アスファルトでない舗装の採用	継続	未実施	道路建設課
		季節を感じられる樹木等、歩道沿いの植樹帯の整備	継続	未実施 (過去の取組) ・赤池駅前線において、赤池箕ノ手緑化計画に沿った植樹帯を設置した。[平成28年度]	道路建設課
	4、バリアフリーな歩道をつくり育む	十分な歩道スペースの確保	継続	未実施 (過去の取組) ・歩道を拡幅した。[平成28年度:赤池駅前線及び白山黒石線] ・歩道を設置した。[平成28年度:藤島1号線]	道路建設課
		段差解消などバリアフリー化の推進	継続	未実施 (過去の取組) ・赤池箕ノ手地区都市公園基本設計に基づき、赤池箕ノ手3号公園の実施設計を行う中で、都市公園の移動等円滑化整備ガイドラインの基準を使用した。[令和2年度] ・歩道をセミフラット化し、視覚障害者誘導用ブロックを設置した。[平成28年度:赤池駅前線]	都市計画課 道路建設課
	屋外広告物に対する指導	継続	・許可申請に関する指導、違反広告物に対するパトロールや県への報告、ルール徹底のためのパンフレット配布を行った。[許可件数:124件]	都市計画課	

H. みちと足

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
H-3 人や環境にやさしい公的な足を確保する	5、市民ニーズに応じた公共交通網をつくり育む	駅前駐輪場の整備・拡充(重複記載 I-3施策5)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車を撤去するなど、駅前駐輪場の維持管理を実施した。 ・日進駅周辺の自転車放置禁止区域について、路面標示シールを更新するなど周知啓発を行った。 	防災交通課
		エコ・モビリティ・ライフの推進(重複記載 I-3施策5)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・車内消毒など新型コロナウイルス感染症対策を実施し、コロナ禍においても安心して利用できる環境整備に努めた。 ・COOL CHOICE普及啓発のため配布した「にしんクールライフノート」において、エコモビの推進を行った。 ・12月にエコモビ推進キャンペーンを実施した。 ・環境まちづくりサポーターズ会員向けメール配信で、エコモビの推進を行った。 	防災交通課 環境課
		東部丘陵線(HSST)、赤池駅、日進駅、米野木駅への有効なバス路線の確保	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・長久手古戦場駅(五色園線)、赤池駅(赤池線、梅森線)、日進駅(赤池線、米野木線、循環線)、米野木駅(三本木線、米野木線)にくるりんばすの乗り入れを行った。 	防災交通課
		バス停付近の環境整備	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停付近の草刈りや清掃等を行い、待合環境の快適度の向上に努めた。 	防災交通課
		市民・利用者を対象としたアンケートの実施	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画案、くるりんばすの部分改正案について、パブリックコメントを実施した。 	防災交通課
		公共交通機関の維持発展を図るための検討	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議(6回)、地域公共交通会議専門部会(5回)を開催した。 	防災交通課

I.暮らし全般・エネルギー



この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、暮らしに対する根本的な価値観や生き方、エネルギー利用、移動手段など日常生活におけるあらゆる環境配慮に関する行動・行為を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	環境にやさしいまちづくりに対する満足度	41.9	%	43.6	41.3	未達成	58

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
I1	エコライフ宣言者数	-	人	1,432	1,725	1,803	1,861	未達成	3,000
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	4	%	8.7	9.1	9.7	10.2	未達成	25
I3	市内3駅の乗降客数	37,590	人	46,672	44,748	31,925	12月末頃値取得予定	未達成	54,000
I4	市役所環境保全のための ^{※1} 行動計画達成率	84.1	%	86.7	84.5	80.5	82.2	未達成	100
I5	ISO14001取得事業者数(エコアクション21取得者を含む)	21	社	22	22	29	28	達成	25

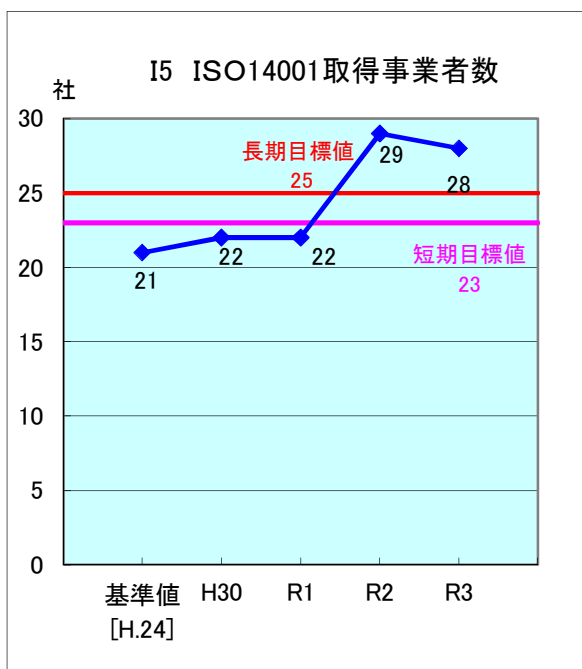
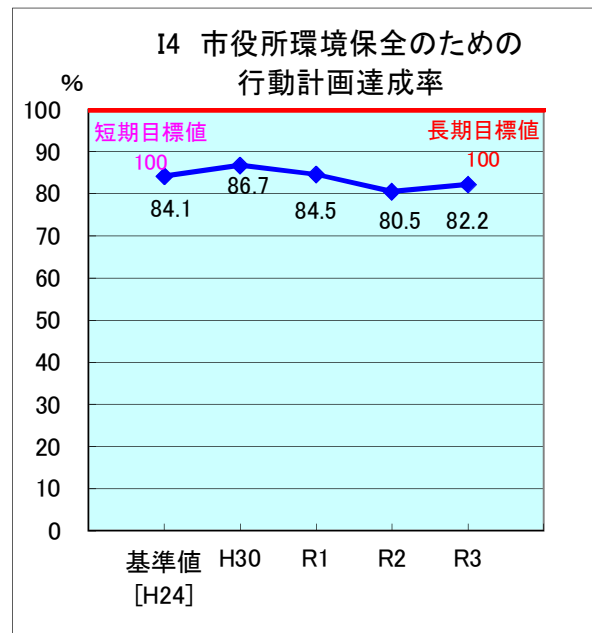
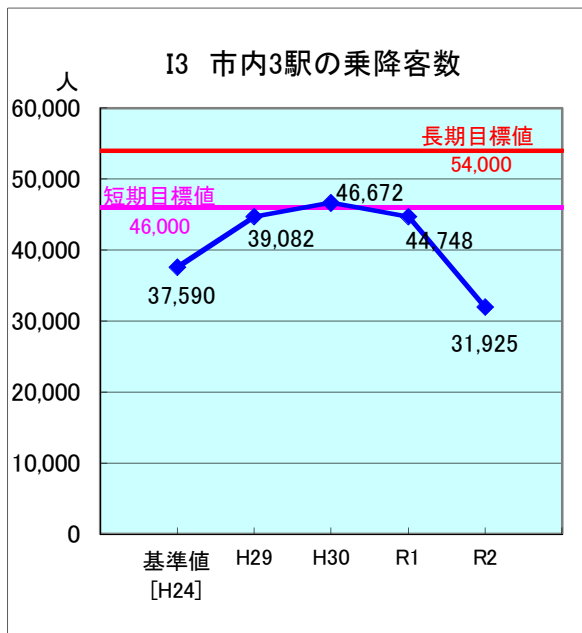
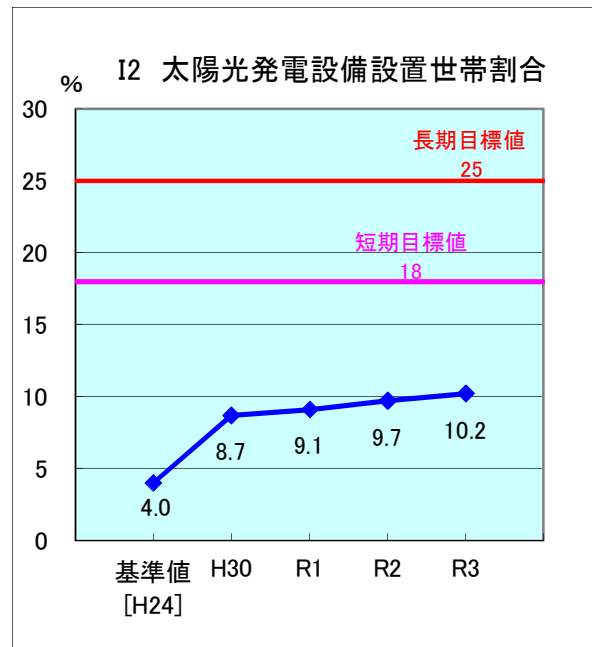
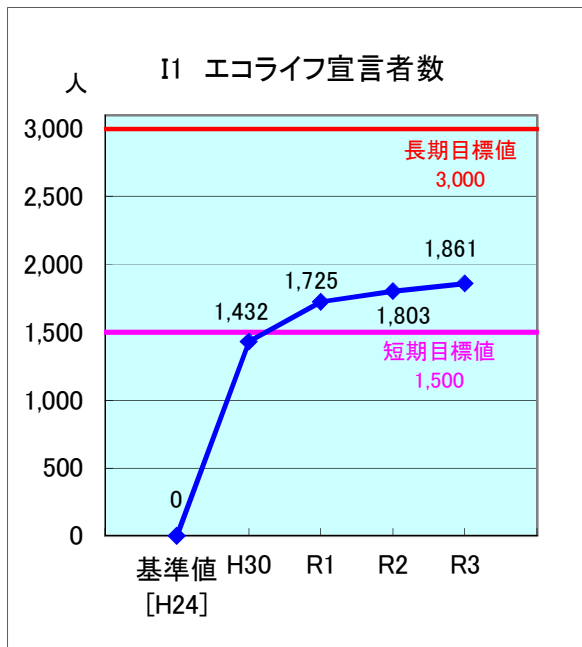
※1 R元年度までの年次報告書はエコモビに特化した配点で表記していましたが、R2年度の年次報告書から配点を見直しました。

【令和3年度の結果と今後の展開】

環境まちづくりサポーターズ制度の推進や住宅用地球温暖化対策機器の補助金交付を着実に実施したことなどにより、エコライフ宣言者数、太陽光発電設備設置世帯割合は増加しています。今後もこれらの事業の周知を図り、継続的に事業を進める必要があります。

市内3駅の乗降客数が減少していますが、コロナ禍における在宅勤務等の影響によるものと考えられます。市役所環境保全のための行動計画達成率が増加しないことから、その原因である職員のエコモビ実施改善に向け、代替となる取組を実施していきます。

引き続き、エコライフに関する情報発信に努め、地球にやさしい取組であるCOOL CHOICEを推進していきます。



I. 暮らし全般・エネルギー

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
I-1 暮らし全般を 問い直す	1、エコライフに関する情報を広め、エコライフを楽しむための機会・人の輪をつくる	エコライフに関するPR	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・COOL CHOICE普及啓発のため配布した「にっしんクールライフノート」において、エコライフに関するPRを行った。 ・環境に関する情報をまとめた「環境新聞」を作成し、各区に回覧して情報を発信した。 ・広報の6月と2月に環境に関する特集記事を掲載した。また市HPで環境に関する情報などを発信している。 ・環境まちづくりサポーターズ会員向け、月1回メール配信にて環境に関する情報などを発信している。 ・環境まちづくりサポーターズ抽選会において、エコライフに関する自己点検とPRを行った。 	環境課
		分野別計画「L. 遊びと学び」に記載			
	2、スローライフな生き方のパラダイムシフトを進める	エコファミリー制度の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度より開始した環境まちづくりサポーターズ制度にて推進している。[会員登録数:2,338人] 	環境課
		にっしん子どもエコクラブの推進(重複記載 L-4施策15)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市が実施しているこどもエコクラブは現在登録者がおらず、それに代わる制度として「環境まちづくりサポーターズ制度」を推進している。 	環境課
にっしんのんびり村の推進		継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD講座として里山体験講座を実施した。[参加者:62名] 	環境課	
I-2 省エネルギー・新エネルギーを 広める	3、電気・ガスなどの省エネルギーを進める	省エネ・新エネの普及啓発	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーと自然エネルギーについて学ぶESD講座を開催した。[参加者:33名] ・にっしん省エネ倶楽部の各事業において、省エネ活動の普及啓発を目的とした講座等を開催した。[参加者:1,361名] 	環境課
		CO2排出量の「見える化」の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減行動の啓発のため、見える化ラベルの配布を行った。 ・にっしん環境まちづくりサポーターズ抽選会において、エコライフ検診参加者へ行動別のCO2削減効果の一覧表を配布した。 	環境課
		省エネ住宅及び省エネ機器の促進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用地球温暖化対策機器を設置した市民に補助金の交付を行った。[エネファーム23件][蓄電池59件][HEMS24件][電気自動車等充給電設備1件][エコ窓改修23件][一体的導入(太陽光+蓄電池+HEMS)20件][一体的導入(太陽光+HEMS+高性能外皮等)9件] ・低炭素建築物の認定制度について市ホームページで周知を行った。 	環境課 都市計画課

I.暮らし全般・エネルギー

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
I-2 省エネルギー・新エネルギーを広める	4、太陽光発電などの新エネルギーの導入を広める	新エネルギー導入に対する支援	継続	・住宅用地球温暖化対策機器を設置した市民に補助金の交付を行った。[エネファーム23件][蓄電池59件][HEMS24件][電気自動車等充電設備1件][エコ窓改修23件][一体的導入(太陽光+蓄電池+HEMS)20件][一体的導入(太陽光+HEMS+高性能外皮等)9件]	環境課
I-3 地球にやさしい移動手段を広める	5、自転車・徒歩、公共交通機関による移動を広める	駅前駐輪場の整備・拡充(重複記載 H-3施策5)		/	
		エコ・モビリティ・ライフの推進(重複記載 H-3施策5)			
I-4 オゾン層保護と地球温暖化対策を進める	6、フロン対策・地球温暖化対策を進める	フロンの適正回収とノンフロン製品の普及促進	継続	・家電リサイクル法等の周知を行った。	環境課
		環境保全創出のための行動計画の推進	継続	・サマースタイルキャンペーンを実施した。(5/1~10/31) ・ウォームビズ及び室内の温度調整を実施した。(12/1~3/31) ・本庁舎の空調を更新し、高効率機器を導入した。 ・開庁時間以外及び昼休みの照明器具の消灯を実施した。 ・推進員を通して省エネルギー、省資源、グリーン購入の推進及びエコモビ取組みへの協力を呼びかけた。	人事課 財務政策課 環境課
		地球温暖化対策地域協議会の施策推進	継続	・緑のカーテンやにっしん省エネ倶楽部等各種事業や広報を通して、地球温暖化対策の普及啓発を行った。	環境課
I-5 継続的・総合的な環境配慮を進める	7、あらゆる事業活動に継続的改善の仕組みを広める	ISO取得支援	継続	未実施	環境課
		事業所における環境学習の推進	継続	・事業所向けに省エネ・再エネに関するセミナーを実施した。[参加者:13名]	環境課

J. 生活と廃棄物



この分野は、「ライフスタイル」に関わる要素のうち、購買、消費、ごみの排出といった生活と廃棄物に関する行動・行為を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	ごみ処理等の環境対策に対する満足度	62.7	%	59.0	54.4	未達成	74

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
J1	環境配慮宣言店舗数	79	店	79	81	86	85	達成	向上
J2	フリーマーケット開催数 ^{※1}	1	回	0	0	0	0	未達成	5
J3	リサイクル率	27.2	%	31.2	29.7	26.8	26.7	未達成	28.3
J4	1人1日当たりのごみ排出量	939	g/ 人・日	848	850	811	803	未達成	770
	不法投棄量	43	t	27	31	16	11	未達成	9

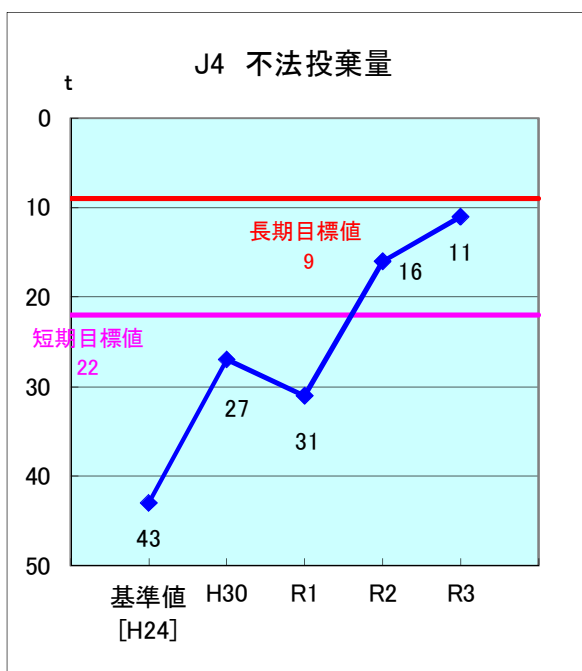
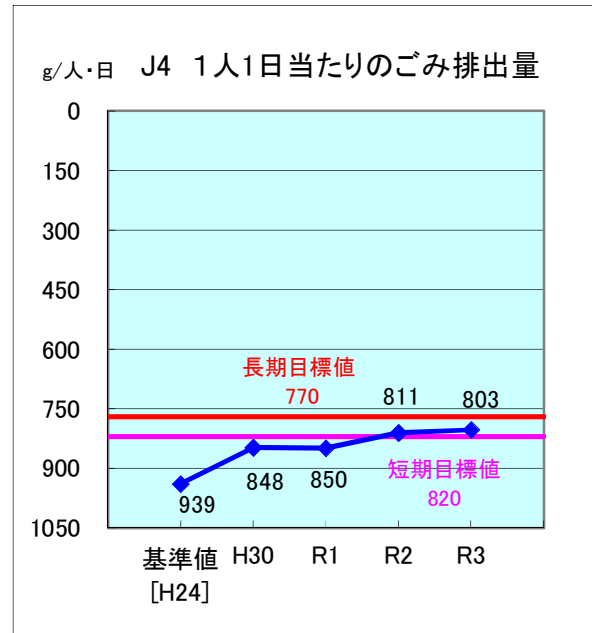
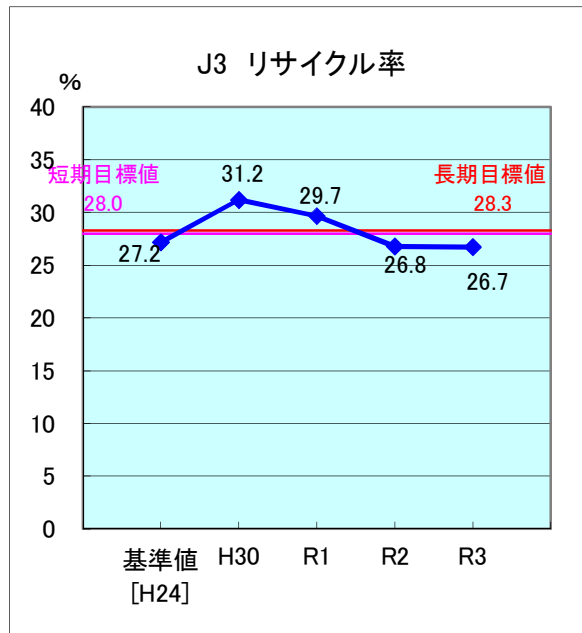
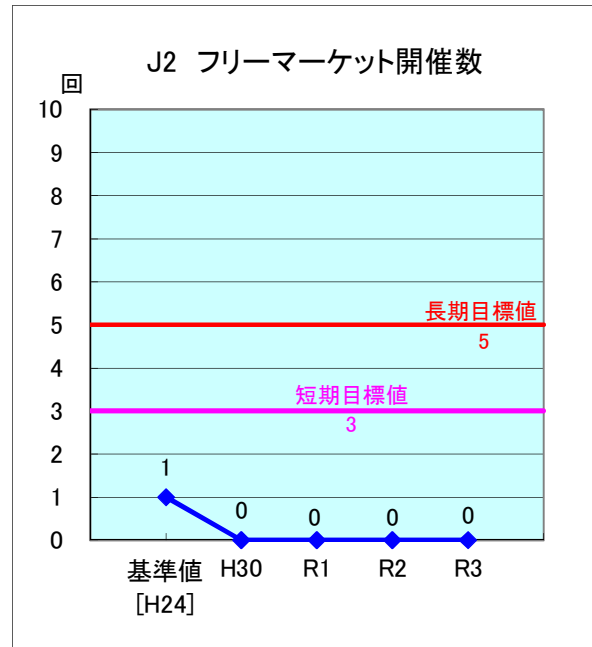
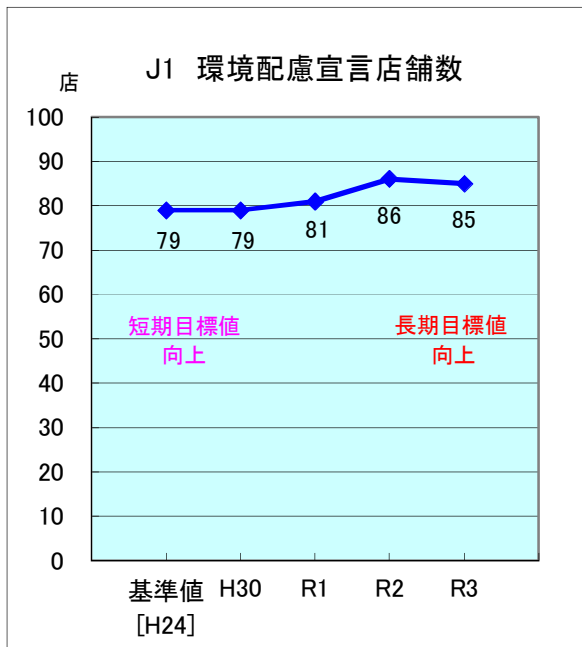
※1 市主催の開催数のみ把握しています。

【令和3年度の結果と今後の展開】

企業と連携して、規格外野菜や地元の農家から仕入れた野菜を販売する無人販売機(シェア冷蔵庫)の実証実験を行いました。

ごみ減量に繋げるため、新たに段ボールコンポスト講座を実施し、生ごみ堆肥化を推進しました。また、ごみ・資源の出し方について広く知っていただくために、にしんテレビを通じてごみ出しルールについて周知しました。今後も引き続き丁寧で分かりやすい説明を行っていきます。

ごみ・資源量の現状やプラスチック資源循環促進法成立等の社会情勢を踏まえ、日進市一般廃棄物処理基本計画を見直しました。目標達成に向け、引き続きごみの減量化・資源化に努めてまいります。



J. 生活と廃棄物

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
J-1 環境にやさしい買い物を広める	1、その必要性和手法を知る場・機会を増やす	分野別計画「L. 遊びと学び」に記載			
	2、環境にやさしい買い物方法が選択できるようにする	マイバックスの普及促進	継続	・マイバックスの利用をホームページにて啓発した。	環境課
		グリーン購入、グリーンコンシューマ活動の推進	継続	・環境保全・創出のための行動計画の中でグリーン購入を推進した。 ・企業と連携して、規格外野菜や地元の農家から仕入れた野菜を販売する無人販売機(シェア冷蔵庫)の実証実験を市役所北庁舎で行った。 ・地産地消の推進として、市内の農業者の紹介や地元野菜が購入できる朝市等の開催情報を広報で周知した。	環境課 農政課
		過剰包装を減らす取組の推進	継続	・ごみ出しアプリにて啓発した。	環境課
		環境配慮店等仕組みづくりの検討	継続	・平成27年度より環境まちづくりサポーターズ制度パートナーシップ団体への登録を推進している。[R3年度末:54団体]	環境課
J-2 物を大切に使う暮らしを広める	3、物を大切に使う行動や意識を育む	フリーマーケットの開催支援	継続	未実施	環境課
	4、リサイクルショップ等の情報提供	リサイクルショップ等の情報提供	継続	・エコドームにある「あいさ」の紹介や尾三衛生組合のエコサイクルプラザの紹介などをした。	環境課
J-3 地球資源を活かすリサイクルを進める	5、リサイクルに対する情報を共有し意識を育む	パンフレット、広報誌、ホームページ等でのわかりやすい周知	継続	・3月号広報の折込で「家庭ごみ&資源の出し方ガイドブック」を全戸配布した。また、同内容をHPに掲載した。	環境課
		分野別計画「L. 遊びと学び」に記載			

J. 生活と廃棄物

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
J-3 地球資源を活かすリサイクルを進める	6、多様で分別しやすいリサイクルルートを充実させる	容器包装リサイクル法・家電リサイクル法に基づく計画的な回収	継続	・家庭ごみ&資源の出し方ガイドブックを作成し、適切な排出方法を周知した。	環境課
		市内各地の資源回収拠点の充実及び常設型資源回収場所の充実	継続	・資源回収拠点を設置し、市民が資源ごみを排出しやすいようにした。[既存107箇所]	環境課
		資源ごみ回収団体支援	継続	・資源ごみ回収団体に重量補助と回数補助の2つの補助金を交付した。[121団体]	環境課
		生ごみ処理機の普及促進	継続	・電動生ごみ処理機購入補助、生ごみ堆肥化容器購入補助金を交付した。[53件]	環境課
J-4 ごみは適正に処理されるようにする	7、環境に配慮したごみ処理を進める	ごみの計画的な収集及び適正処理	継続	・一般廃棄物処理計画に基づき適正にごみを収集した。	環境課
		市収集ごみ集積所の維持管理	継続	・必要に応じ、集積所のネットや看板を交換、パレテナ(鉄製ごみ籠)を設置するなど維持管理を行った。	環境課
		粗大ごみの効率的な収集及び適正処理	継続	・粗大ごみの受付業務を外部委託し、利用者のサービスの向上を図った。	環境課
		ごみ処理業者に対する指導、監視	継続	・必要に応じて事業者と協議等を行った。	環境課
		不適正排出者への指導・啓発	継続	・不適正排出者については、追跡調査を行い指導等をした。	環境課
	8、不法投棄を撲滅させる	不法投棄多発地区の監視	継続	・定期的にパトロールを実施し、不法投棄を発見した場合は警告シールを貼るなどの対応をした。	環境課
不法投棄を防止する対策の推進(重複記載 A-4施策8)					

K. コミュニティ



この分野は、「コミュニティ」に関わる要素で、近くにくらす人々、環境に関する意識・目的を共有する人々、事業所など様々なつながりを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	身近な地域活動が活発であると思う市民の割合	32.8	%	36.7	34.4	未達成	43

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
K1	区・自治会加入率	71.1	%	74.1	73.8	73.8	72.7	未達成	80
K2	にぎわい交流館の利用者数	35,550	人	42,999	36,140	7,447 ^{※1}	11,263 ^{※1}	未達成	41,000
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	-	団体	— (39)	— (40)	— (50)	— (54)	達成	20
K4	地域活動参加事業者数	14	事業者	27	27	1	2	未達成	20

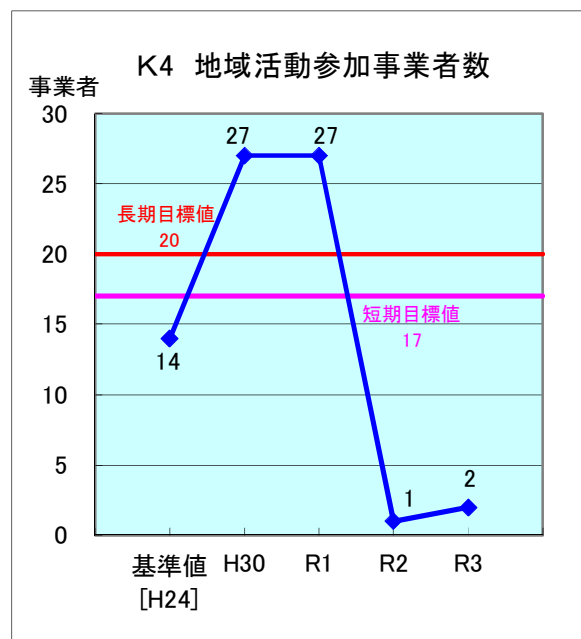
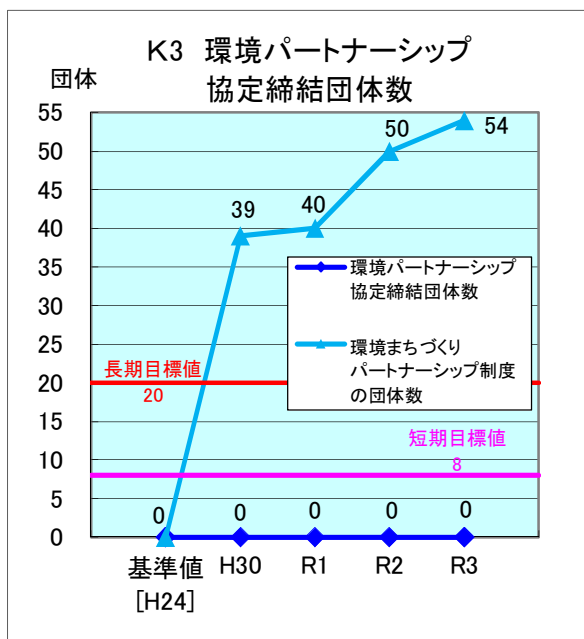
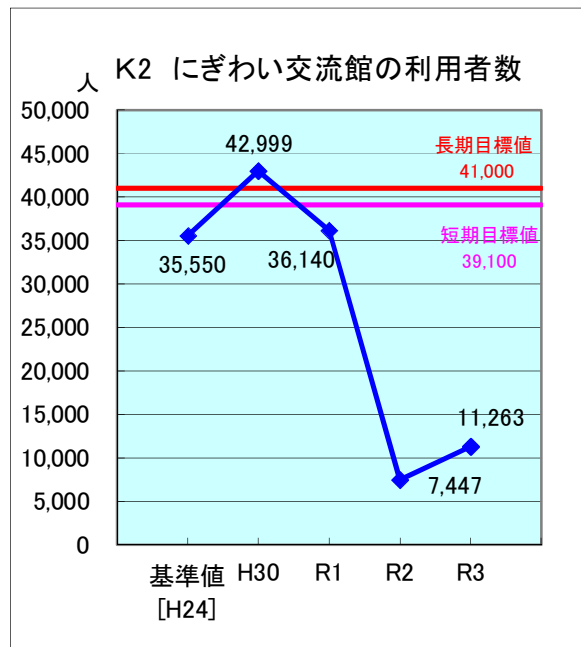
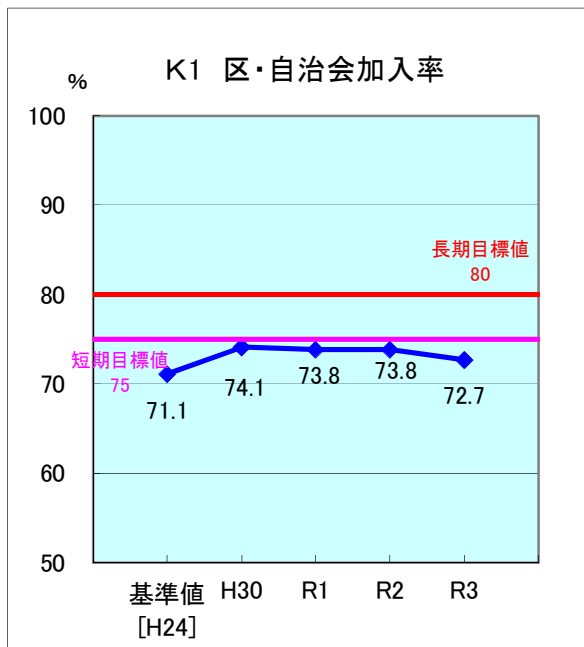
※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議室利用制限等を設けています。

【令和3年度の結果と今後の展開】

地域コミュニティの活性化のため、区・自治会加入率の維持が課題となっています。引き続き地域自治組織が行う活動や公民館等の整備に対して補助金の交付等により支援していきます。

わいわいフェスティバルを社会情勢を考慮し、オンライン等による開催としたことなどにより、令和2年度と同様に地域活動参加事業者数は、例年から大きく減少しています。

今後も地域コミュニティ活動が活性化するよう市民、事業者等と協働し、取り組む必要があります。



K. コミュニティ

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
K-1 環境まちづくりへの参加をすすめる(意識啓発)	1、身近な地縁コミュニティの活性化をはかる	地域コミュニティ活動支援	継続	・日進市地域コミュニティ推進事業補助金(地域振興事業)の交付により、地域が実施する事業にかかる費用に対する補助を実施した。	市民協働課
		家庭教育推進委員会の組織運営体制の支援・強化	継続	・市内9学区家庭教育推進委員会に対し、地域の特性を活かした地域ぐるみの家庭教育活動を実施した。また、家庭教育推進委員会委員に対して講演会を実施した。	生涯学習課
		地域の伝統・行事の伝承	継続	・新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、自主交流事業を実施した区もあったが、中止した区が多かった。そのため、自主交流事業への補助に代わり、新型コロナウイルス対策への感染症対策等経費の補助を実施した。 ・「旧市川家キッズ」において、地域の神楽について講習を行った。	市民協働課 生涯学習課
	2、様々な世代が知り合い、交流する場や機会をつくる	地域コミュニティ活動の拠点となる集会所等の支援	継続	・日進市地域コミュニティ推進事業補助金(活動拠点管理事業及び地域集会所建設等事業)の交付により、全19区の集会所等の維持管理及び改築や備品購入に対する補助を実施した。	市民協働課
		公園愛護会等、緑化推進団体の活動支援(重複記載 E-2施策3、G-1施策2)			
		北高上緑地等の樹林地の活用(重複記載 G-1施策2)			
		学校施設の地域開放(重複記載 G-1施策2)			
		オアシス運動の推進	継続	・PTAの活動としてあいさつ運動を各校で実施した。	学校教育課
		地域と学校との連携推進	継続	・地域清掃やPTAの清掃活動などで、様々な世代と行動を共にし、環境まちづくりに参加した。	学校教育課
		生涯学習4Wプログラムの推進	継続	・「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」の4Wプランの基本目標に基づき、様々なジャンル・時間帯・対象者の学習講座を行った。	生涯学習課

K. コミュニティ

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
K-1 環境まちづくりへの参加をすすめる(意識啓発)	2、様々な世代が知り合い、交流する場や機会をつくる	ふらっとホームの推進(重複記載 G-1施策2)			
		福祉会館の利用促進(重複記載 G-1施策2)			
		高齢者と児童との交流機会の創出	継続		
K-2 環境まちづくりへの参加をすすめる人と組織を育む(人づくり)	3、環境まちづくりを進めるリーダーの育成	地域リーダー育成支援	継続	・市民活動団体の技術向上のため「Zoomの使い方講座」を開催した。[参加者:30名] ・市民活動団体の認知度向上及び活動資金調達を目的として、「にぎわいメルカリ初心者講座」を開催した[参加者:12名]	市民協働課
		人材バンクの創出(重複記載 L-3施策4)	継続	・講座やイベントを通して、講座や環境まちづくりへの活動ができる人材を募集している。 ・人材情報「まちかどネットワーク」にて、知識を活かしたい人の情報を登録し、市民の学びの目的にあった講師の紹介の場を提供した。 ・まちかどネットワーク登録講師による「市民企画講座」を実施した。	環境課 生涯学習課
	4、地域における多様な人材の発掘、活用	地域で伝統・技術を持った人の発掘と活用	継続	・にっしん水生生物調査を、水中生物に詳しい地域の方を講師として実施した。[参加者:29名] ・旧市川家活用協力会による年中行事展示やクド等を使った昔の暮らし体験講座を行った。	環境課 生涯学習課
		学び教える場(寺子屋等)の創出	継続	・親子里山体験を開催し、竹を使ったおもちゃなどの遊びを教える場を提供した。[参加者:62名]	環境課 生涯学習課
	5、環境まちづくり組織を支える担い手の育成	様々な関心・テーマの市民活動のネットワーク化	継続	・わいわいフェスティバルは社会情勢を考慮した結果オンライン及び紙面開催し、団体紹介等を行った。 ・にぎわい交流館に登録している団体を掲載したにぎわい団体帖を作成し、ホームページに掲載した。	市民協働課

K. コミュニティ

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
K-3 環境まちづくりを進める仕組みをつくる(仕組みづくり)	6、条例・補助制度などの支援制度の整備	自治基本条例、市民参加及び市民自治活動条例の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・日進市自治推進委員会を4回開催した。 ・令和3年度採用職員向け研修で、自治基本条例を説明した。 ・市民課、税務課、産業振興課及び保健センターで使用している窓口用封筒に自治基本条例の啓発文を掲載した。 ・広報につしん10月号で、自治基本条例啓発記事を掲載した。 ・自治基本条例啓発マンガパンフレットを転入者へ配布した。 ・令和3年度係長級職資格試験の学科試験出題範囲に自治基本条例を含めた。 ・市民参加の手続き選定に当たり、その対象事業ごとにより適した手法を選んでいく運用を継続し、より丁寧な市民参加が図れる体制を継続した。 	企画政策課 市民協働課
		NPOの組織化(法人化)に対する支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい交流館において、各種相談業務を継続的に実施しており、NPOの組織化(法人化)の相談についても対応している。 	市民協働課
		環境まちづくり活動の支援(補助制度による市民活動の支援、市民活動の情報発信支援など)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から市民協働課所管の市民活動推進補助金から環境部門を統合し、環境まちづくり活動の支援は、環境課所管の公募提案型につしんESD事業で実施している。[10団体] 	環境課
	7、近所での助け合いの仕組みと意識を育む	地域通貨(エコマネー)の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境まちづくりサポーターズ制度にて、イベント参加者等にサポーターズポイントを配布した。 ・社会福祉協議会と連携しながら、支え合い助け合いの地域づくり(ワンコインサービス)の導入支援を行っている。 	環境課 地域福祉課
		自主防災・防犯組織の育成・強化の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯団体の活動に支援を行った。 ・防災・防犯団体などによる年末夜警合同出発式を開催し、機運の醸成を計った。 ・東小学校および日進東中学校にて、「避難所開設運営訓練」を実施した。 	防災交通課

K. コミュニティ

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
K-3 環境まちづくりを進める仕組みをつくる(仕組みづくり)	8、環境まちづくり活動にかかわる情報の提供	情報や活動の場の提供など市民活動への支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広報にっしんで市民活動の情報提供を行った。[特集記事年2回] ・ウェブサイトによる情報発信を行った。 ・にぎわいNEWSを2回発行し、地域回覧及び公共施設や大学等に設置した。[各回3,500部発行] ・にぎわい交流館サロンや公共施設に市民活動団体、チラシ、ボランティア募集等を設置した。 ・SNSによる情報提供を行った。 ・にぎわい交流館に登録している団体を掲載したにぎわい団体帖を作成した。 	市民協働課
K-4 環境まちづくりへの多様な組織の参加、共働を促す(連携強化)	9、地域型活動とテーマ型活動の共働をすすめる	テーマ型の活動団体と地縁コミュニティとの共働推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・日進市市民自治活動推進補助金の交付により団体の支援を通してテーマ型団体と地縁型コミュニティとの協働を推進した。 ・コミュニティ公募提案型(テーマ提示型)事業の募集を行い、提案があり、採択された団体と契約し事業を推進した。[10団体] 	市民協働課 環境課
	10、事業者の参加をすすめる、交流・共働の機会をつくる	事業者参加の市民会議の設置	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と事業者が参加する会議として、地球温暖化対策地域協議会を年2回開催した。 	環境課

L. 遊びと学び



この分野は、「遊びと学び」に関する要素のうち、環境まちづくりやそれにつながる活動を進める原動力となる、環境共育(ESD)、環境に関する情報発信及び環境まちづくりを進めるうえでの子どもから高齢者までの様々な世代の参加を対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	【平成23年調査】 環境問題に関心を持ち、自ら学んでいる市民の割合	28.1	%	—	—	未達成	38
★	【平成26年調査】 環境問題について、自ら学習に取り組んでいる市民の割合	—	%	20.1	16	未達成	38

※1 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

※2 平成23年と平成26年の調査で、質問が変更になったため2段に分かれています。
また、成果指標についてもH23の基準値とは質問が変更されているため、この指標については、H26の数値を基準値として扱うこととしています。

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
L1	環境共育講座数	16	講座	55	64	59	68	達成	30
L2	環境パートナーシップ事業数	4	件	8	8	9	8	未達成	20
L3	エコフェスタ参加団体数 (H28～わいわいフェスティバルに統合)	31	団体	170(23) (○)は参加環境団体数	119(20) (○)は参加環境団体数	—※1	66(20) (○)は参加環境団体数	達成	40
L4	子どもエコクラブへの参加子ども数 (環境まちづくりサポーターズ子ども会員数)	106	人	13 (465)	13 (540)	13 (545)	11 (548)	達成	300

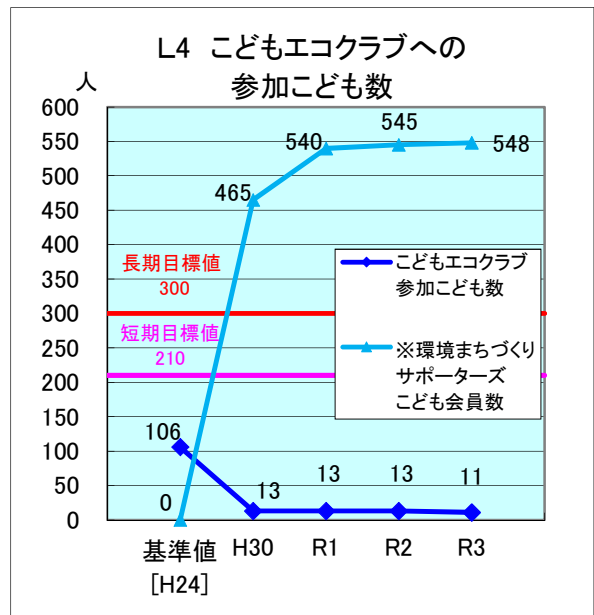
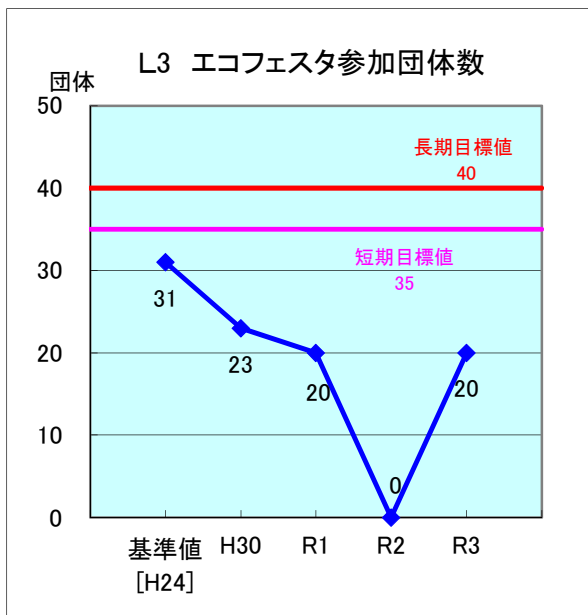
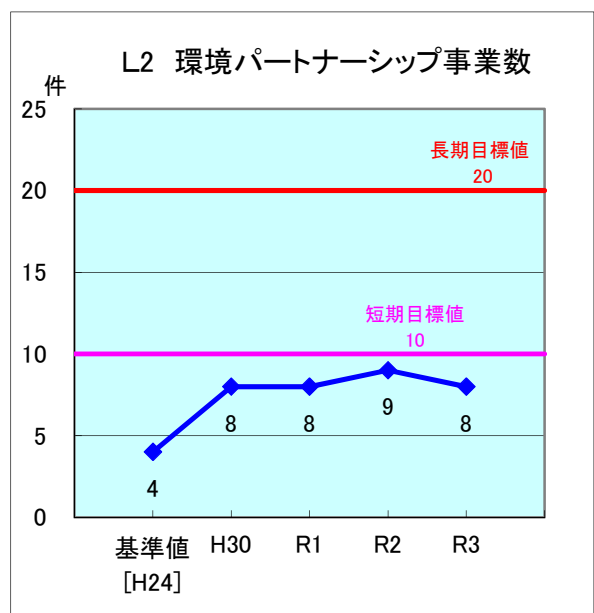
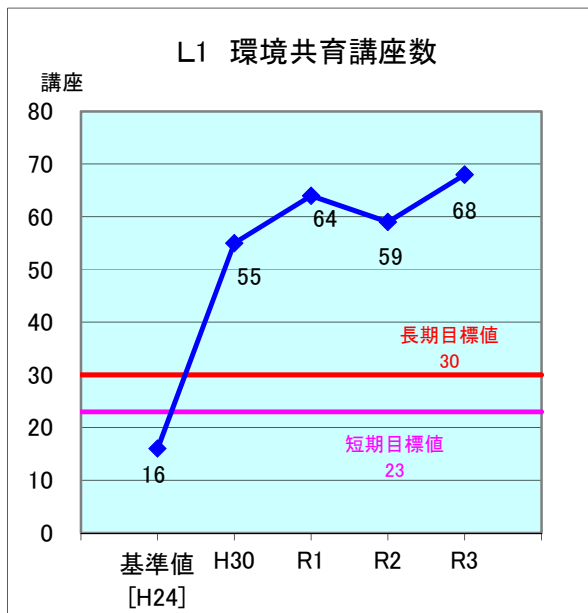
※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、R2年度わいわいフェスティバルは中止となりました。

【令和3年度の結果と今後の展開】

市民団体や事業者と連携したESD講座の継続的な実施により、環境共育講座数は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でわいわいフェスティバル参加団体数は、例年よりも低い水準となっています。

令和3年度も環境共育をはじめ地域・学校での学びや多世代の参加推進に関する様々な取り組みが行われました。

今後も、全庁的なこれらの取組を地域、市民団体、事業者等と連携して継続的に進めていきます。



※R3年度末会員登録数 2,338人
(内訳:大人 1,790人、子ども 548人)

L. 遊びと学び

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
L-1 環境共育・ESDの推進	1、水に関する環境共育の推進	天白川やため池を活かし、身近な水循環について学ぶ機会の創出、遊びや学びを共につっていく人を育てます。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「天白川おもしろ体験バスツアー」と題し、天白川と触れ合うイベントを実施した。[参加者：15名] ・ため池で外来生物について学ぶ講座を実施した。[参加者：32名] ・ペットボトルトラップを作って魚を採り、川に生息する生き物について学ぶ講座を実施した。[参加者：29名] ・河川のごみを楽しく拾いながら、水循環や海洋プラスチックごみ問題について学ぶ講座を実施した。[参加者：26名] ・にしん水生生物調査を河川愛護団体と協働して実施し、河川の水質と生息している生きものについての学習を行った。 ・授業や部活動で天白川やため池の生きものを観察することにより、川や池の生態系を知り、身近な水循環について学んだ。 	環境課 学校教育課
	2、緑に関する環境共育	日進に残された自然や水田等を活かし、ふれあえる場や機会の創出、遊びや学びを共につっていく人を育てます。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・親子里山体験講座を開催し、里山で親子で里山の恵みについて体験するイベントを実施した。[参加者：62名] ・日進のたんぼで農育体験講座を実施した。[参加者：親子10組] ・収穫が終わったたんぼで「どろ」を題材に、自然体験を通じて自然と触れ合う楽しさや大切さを伝える講座を実施した。[参加者：23名] ・特色ある学校づくり事業の中で、畑や水田を利用し、地元の方などを講師として招き、野菜作りや米作りを実施した。 ・シイタケ栽培体験、竹炭作り等の北高上緑地里山体験イベント、里山保全実践講座を開催し、里山に触れ合う機会等を創出した。[里山体験イベント：221名 里山保全実践講座：72名] 	環境課 都市計画課 農政課 学校教育課
	3、まちに関する環境共育	大気や身近なまちとの関わりを、星空観察会やまち探検等とおして知り、よりよい環境まちづくりを進める人を育てます。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各校でまち探検や社会見学等を実施し、自分たちの住むまちについて学んだ。 ・文化財スタンプラリーを旧市川家住宅・香久山古窯・岩崎城歴史記念館の3館で実施した。 	環境課 生涯学習課 学校教育課
	4、ライフスタイルに関する環境共育	地球温暖化、資源循環、廃棄物等について学ぶ機会の創出、身近な暮らしにおいて環境に配慮した行動ができる人を育みます。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けに講座を開催した。[リサイクルツアー：1回、15名 夏休みせつけん教室：1回、15名 パソコン分解教室：1回、7名、段ボールコンポスト講座：1回、10名] ・環境問題、資源循環や廃棄物等については、各校での社会科の授業や社会見学などで学んでいる。 	環境課 学校教育課

L. 遊びと学び

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
L-1 環境共育・ESDの推進	5、その他環境全般に関する環境共育	地球と自分たちとのつながりを意識できるような取り組みを進め、持続可能な社会を目指して、自ら進んで環境問題に取り組む人を育てます。	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・にっしん省エネ倶楽部事業で、地球が抱える様々な問題について考えてもらいながら、SDGsの達成に貢献できる人づくりにつながる講座を実施した。[13講座] ・ESD講座等においてSDGsの達成に向けた講座を実施するとともに、ESDの普及啓発を行った。[40講座] ・2/26～3/6に図書館でSDGs・ESDのパネル展示を行い、SDGs・ESDの普及啓発を実施した。 ・社会科の授業で環境問題を学んだ。 	環境課 学校教育課
		ユネスコスクールの加盟促進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ユネスコスクール等に関する情報を収集し、各学校へ提供した。 	環境課 学校教育課
L-2 地域や学校などで共に学ぶ場と意識を育む	6、学校を拠点とした環境共育を広げる	児童・生徒向け環境共育プログラムの提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校講座「ゲンジボタルの一生と折戸川の環境について」と題し、環境団体（折戸川にホテルを飛ばそう会）による出前講座を実施した。[計3校で開催 477人受講] ・小学校等で地球温暖化やSDGsについて学ぶ「省エネ教室」を実施した。[計6か所で開催 380人受講] 	環境課
		のんびり村での作業、体験イベントの開催	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・親山里山体験講座を開催し、里山で親子で里山の恵みについて体験するイベントを実施した。[参加者：62名] 	環境課
	7、にっしんののんびり村を拠点とした環境共育を広げる	昔ながらの暮らしを調べる	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・西小学校3年生が旧市川家住宅を見学し、職員による館内ガイドを実施した。[約120名] 	環境課 生涯学習課
		のんびり村の充実と拡大(重複記載 L-2施策9)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD講座として里山体験講座を多数開催することで自然と共生した里山の大切さを実感してもらう機会を提供した。 	環境課
	8、地域を拠点とした環境共育(ESD)を広げる	地域の資源を活用した環境共育(ESD)の推進(重複記載 L-2施策9)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・みぢかな自然観察会を4回開催し、湿地やため池などその特色を活かした自然観察を実施した。[参加者：87名] ・梨子ノ木の小路で、樹木の特性や生息している生き物について学ぶ自然観察会を2回開催した。[参加者：40名] ・東部丘陵地内を探索し、生きものや樹木を観察しながら生物多様性について学ぶ講座を開催した。[参加者：15名] 	環境課

L. 遊びと学び

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
L-2 地域や学校などで共に学ぶ場と意識を育む	9、ESDの担い手づくりの視点から気づき、学び、そして行動につなげるための場所づくりを進める	環境にやさしい体験農園の推進・拡大	継続	・農育体験講座(完全有機肥料・完全無農薬でお米を育てよう)を6回開催した。[参加者:親子10家族]	環境課 農政課
		にしんのんびり村の充実と拡大(重複記載 L-2施策7)			
		地域の資源を活用した環境共育(ESD)の推進(重複記載 L-2施策8)			
L-3 環境情報の推進	10、環境情報の収集管理を行う	必要な環境情報のリストアップと発信、管理方法の研究	継続	・環境に関する情報を広報だけでなく行政区や自治会に回覧するなどし、幅広く情報提供できるようにした。	環境課
		市内外の環境情報ネットワークづくり(重複記載 L-3施策12)	継続	・県のAELネットに加盟し、市外の環境情報について情報発信した。 ・生物多様性自治体ネットワークに加盟し、他市町村と環境情報を共有した。 ・東部丘陵生態系ネットワーク協議会にて、東部丘陵の生態系についての情報を共有した。	環境課
		継続的な環境情報の収集、管理	継続	・市域4地内で令和2年度から令和3年度までの2か年にわたって自然環境調査を実施した。今後次期環境基本計画の中で、日進市の守るべき自然を取りまとめていく予定である。	環境課
		人材バンクの創出(重複記載 K-2施策4)			
	11、環境情報誌など紙媒体で発信する	環境情報誌の定期的な発行	継続	・環境新聞を発行した。[発行回数:4回]	環境課
環境情報シートの作成と活用		継続	・年次計画の概要版(やわらか版)を作成し、HPIに掲載した。	環境課	

L. 遊びと学び

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
L-3 環境情報の推進	12、ホームページなど電子媒体で発信する	ホームページの開設とコンテンツの充実	継続	・環境に関する情報(ごみ分別・環境講座・各種補助金・公害・地球温暖化対策等)について定期的に更新をし、情報を発信した。	環境課
		市内外の環境情報ネットワークづくり(重複記載 L-3施策10)			
		メールマガジンにより発信	継続	・環境まちづくりサポーターズ会員など登録者に環境イベントなどの情報を提供した。	環境課
	13、環境センターを創り育む	日進市版環境センターのあり方の研究	継続	・エコドームに市民活動支援室を設置し、環境まちづくり団体の活動を支援した。	環境課
		エコドーム(中央環境センター)の企画展示などの充実	継続	・環境団体が市民活動支援室にて、廃食用油せっけんづくり教室を開催した。	環境課
		日進市版環境センターの開設と充実化	継続	・エコドームに市民活動支援室を設置し、環境まちづくり団体の活動を支援した。	環境課
	14、環境イベントで発信する	エコフェスタの開催	継続	・平成28年度にわいわいフェスティバルに統合した。 ・オンライン開催されたわいわいフェスティバルにWeb出展し、SDGs・ESDを周知した。	環境課

L. 遊びと学び

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
L-4 様々な世代の 参加推進	15、子どもの 参加を進める	未来をつくる子ども 条例の推進	継続	・放課後こども教室(2か所)の子どもたちを対象とした条例普及啓発事業を実施した。 ・啓発用パンフレットを作成した。	子育て支援課
		にっしん子どもエコ クラブの推進(重複 記載 I-1施策2)		/	
		子ども会活動支援	継続	・子どもたちの自主性と社会性を高める活動を行う、子ども会連絡協議会の活動を支援した。	子育て支援課
		ユース世代の居場 所づくり	完了	(過去の取組) ・平成26年度まで市内の中高生を中心に、祭りやイベントを企画実施し、居場所作りを目的としたじえねぶる事業を実施した。	子育て支援課
		子どもの活動の発 表の場づくり	継続	・子ども条例の理念に基づき、子どもが主体的に活躍できる事業を実施した。	子育て支援課 生涯学習課
	16、大学生の 参加を進める	大学連携の推進	継続	・全体として25大学と108事業を実施した。 ・市民協働課としては大学連携事業を始め、各イベントを通して29事業を実施した。	市民協働課
		インターンシップ制 度の適正な運用	継続	・大学と連携協定を締結し、学生ボランティアなどを市のイベントなどで受け入れた。[新規連携協定なし、継続9大学]	人事課 市民協働課

L. 遊びと学び

環境まちづくりプログラム	施策	具体的取り組み	区分	令和3年度実績	所管課
L-4 様々な世代の 参加推進	17、子育て 期・壮年期の 参加を進める	子育て中の親子の 交流促進	継続	・にっしん子育て総合支援センターにおいて、子育て親子の交流の場として「あそびの広場」、季節行事等を実施した。	子育て支援課
		NPO等の子育て 支援活動の活性化	継続	・市民自治活動推進補助金事業のうち、3件子育て事業の実績があった。 ・にっしん子育て総合支援センターの運営を指定管理者であるNPO法人に委託し、地域子育て支援拠点事業やファミリーサポートセンター事業等を実施した。	市民協働課 子育て支援課
		子育て支援情報の 充実	継続	・子育て情報誌「ふあまっぷ」の発行(四半期ごと)や、子育て支援用HP「WEB版ふあまっぷ」、「子育てアプリ」の運営を行った。	子育て支援課
		おやじの会設立促進	継続	・各地域で独自の事業を実施している。	環境課
	18、高齢者の 参加を進める	老人クラブ活性化 支援	継続	・老人クラブの活動に補助金を出すなどし、活動を支援した。[37団体]	地域福祉課
		コミュニティサロン 事業の推進	継続	・高齢者の介護予防のため、各福祉会館にて毎月4回程度コミュニティサロンを実施した。[開催回数:173回、参加人数:延べ1,214人]	福祉会館
		おたっしやハウス 事業の推進	継続	・高齢者の健康増進のために、各福祉会館にて毎月4回程度おたっしやハウスを実施した。[開催回数:177回、参加人数:延べ4,667人]	福祉会館
		就労機会の拡大	継続	・日進市シルバー人材センターにて、様々な就労機会の提供をした。	地域福祉課

参考資料

1. 河川水質調査
2. 河川底質調査
3. ため池水質調査
4. 大気汚染物質調査

河川水質調査(平成30年度～令和3年度)

令和3年度

	河川	類型	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (MPN/ 100ml)	ノロウイルス 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオン 界面 活性剤 (mg/l)	水温(℃)
米野木橋	天白川	C	7.3	3.5	3.8	4	9.3	13000	<0.5	2.8	0.27	15	16	0.05	18.4
野方大橋			7.5	2.8	3.1	4	10.0	8900	<0.5	2.3	0.18	15	15	0.04	18.8
新大正橋			7.2	3.6	4.1	6	9.0	9400	<0.5	3.6	0.24	19	22	0.06	19.3
岩崎橋	岩崎川		7.3	2.4	2.8	3	9.5	20000	<0.5	2.1	0.18	15	21	0.04	19.6
金剛橋			7.3	1.8	2.0	2	9.4	14000	<0.5	0.65	0.03	7.9	6.4	0.02	20.0
小牛橋	北新川		7.1	3.2	3.1	3	9.1	7000	<0.5	2.4	0.15	12	12	0.04	19.7
月花橋	三本木川		7.2	2.8	2.9	2	9.3	11000	<0.5	1.9	0.21	10	11	0.04	19.2
稲荷橋	折戸川		7.5	2.4	2.8	1	9.9	8100	<0.5	2.5	0.13	19	20	0.05	18.9
広田橋	豊田川		7.2	2.6	2.8	2	10.0	14000	<0.5	2.9	0.26	19	14	0.06	19.2
小川橋	小川		8.0	6.4	8.5	5	13.0	35000	<0.5	4.0	0.56	25	30	0.08	23.8

令和2年度

	河川	類型	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (MPN/ 100ml)	ノロウイルス 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオン 界面 活性剤 (mg/l)	水温(℃)
米野木橋	天白川	C	7.3	2.8	3.7	3	9.0	6300	<0.5	3.0	0.29	18	20	0.08	18.3
野方大橋			7.5	2.6	3.4	5	10.3	4800	<0.5	2.5	0.21	16	17	0.06	18.1
新大正橋			7.2	4.0	4.4	4	9.6	4400	<0.5	4.1	0.29	19	26	0.08	19.4
岩崎橋	岩崎川		7.3	2.1	2.9	2	9.6	6100	<0.5	2.1	0.19	16	23	0.05	19.7
金剛橋			7.2	1.8	2.2	3	9.4	5500	<0.5	0.8	0.03	8.9	7.3	0.03	19.2
小牛橋	北新川		7.1	3.0	3.1	3	9.2	4300	<0.5	2.5	0.14	13	13	0.06	18.8
月花橋	三本木川		7.1	3.2	3.2	1	9.3	15000	<0.5	2.2	0.23	12	12	0.06	19.1
稲荷橋	折戸川		7.5	2.2	2.9	2	10.2	14000	<0.5	2.5	0.14	19	17	0.07	18.3
広田橋	豊田川		7.3	2.9	3.3	1	11.3	3800	<0.5	3.8	0.42	21	17	0.09	19.3
小川橋	小川		7.7	5.6	7.6	4	12.6	7500	<0.5	3.7	0.56	26	35	0.09	24.0

令和元年度

	河川	類型	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (MPN/ 100ml)	ノロウイルス 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオン 界面 活性剤 (mg/l)	水温(℃)
米野木橋	天白川	C	7.3	2.5	3.8	4	9.5	5200	<0.5	2.9	0.26	18	19	0.06	18.1
野方大橋			7.5	2.9	3.6	4	9.6	20000	<0.5	2.6	0.23	16	18	0.05	17.6
新大正橋			7.2	4.1	4.5	5	9.6	5500	<0.5	4.0	0.32	21	26	0.06	19.8
岩崎橋	岩崎川		7.3	3.5	3.8	3	9.3	8900	<0.5	2.4	0.31	17	26	0.05	19.5
金剛橋			7.1	1.7	2.3	2	7.7	5000	<0.5	0.7	0.03	8.7	9.6	0.03	18.6
小牛橋	北新川		7.2	3.4	4.2	7	8.8	13000	<0.5	3.2	0.23	14	16	0.06	20.0
月花橋	三本木川		7.1	2.9	3.4	2	8.8	22000	<0.5	2.2	0.27	11	13	0.04	19.2
稲荷橋	折戸川		7.5	2.2	3.3	3	10.7	7300	<0.5	2.5	0.18	18	18	0.05	18.3
広田橋	豊田川		7.3	3.4	3.8	2	11.3	7900	<0.5	3.6	0.45	20	16	0.07	18.4
小川橋	小川		7.7	4.1	7.1	3	13.3	16000	<0.5	3.6	0.71	24	32	0.09	25.1

平成30年度

	河川	類型	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	DO (mg/l)	大腸菌 (MPN/ 100ml)	ノロウイルス 抽出物質 (mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気 伝導率 (mS/m)	塩化物 イオン (mg/l)	陰イオン 界面 活性剤 (mg/l)	水温(℃)
米野木橋	天白川	C	7.3	2.5	3.9	5.7	10.0	7597	0.5>	2.7	0.3	18.2	17.4	0.1	19.9
野方大橋			7.4	3.0	3.9	4.0	9.5	17150	0.5>	2.8	0.3	16.8	18.3	0.0	20.0
新大正橋			7.2	3.6	4.6	4.3	8.9	15533	0.5>	3.7	0.3	20.3	24.2	0.1	21.5
岩崎橋	岩崎川		7.3	3.2	4.0	6.0	9.5	10650	0.5>	2.4	0.3	16.8	22.0	0.0	20.2
金剛橋			7.1	1.3	2.2	3.2	9.0	6467	0.5>	1.4	0.0	9.5	8.0	0.0	19.8
小牛橋	北新川		7.1	3.4	4.0	4.5	9.0	9550	0.5>	3.7	0.2	15.2	16.3	0.1	19.8
月花橋	三本木川		7.1	3.0	3.6	5.2	9.1	5050	0.5>	2.2	0.3	11.2	11.1	0.0	20.5
稲荷橋	折戸川		7.4	2.0	3.7	5.3	9.6	6030	0.5>	3.0	0.2	18.2	18.0	0.1	20.2
広田橋	豊田川		7.3	3.0	4.5	4.8	10.8	4042	0.5>	3.7	0.4	19.0	14.7	0.1	20.3
小川橋	小川		7.2	6.3	8.9	8.7	10.3	6983	0.5>	4.3	0.8	24.8	32.3	0.1	24.8

備考 ①環境基本法に基づく「生活環境の保全に関する基準(河川)」における水域類型の指定について、天白川のみC類型に指定されています。

②BODは測定結果の75%水質値※、その他の項目は年間平均値。

※BOD水質値とは、全データを小さいほうから順に並べ、0.75×n番目のデータのことをいう。BODの評価についてはBOD75%水質値を用いる。

【表】生活環境保全に関する環境基準(生活環境項目)【河川(湖沼を除く。)]

類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学酸素供給 量(BOD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L 以上	50MPN/100ml 以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN/100ml 以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L 以上	5,000MPN/100ml 以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L 以上	-
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L 以上	-
E	工業用水3級、環境保全	6.5以上 8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/L 以上	-

(参考)水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)

用語解説について

水素イオン度 (pH)	水素イオンの濃度。pH7を中性とし、数値が小さくなるほど酸性(pH0~7)の度合いが強くなり、値が大きくなるほどアルカリ性(pH7~14)の度合いが強くなります。pHが6.5~8.5の範囲から出ると、河川の生産性が低下し、水処理にも悪影響が出るといわれています。
BOD (mg/l)	生物化学的酸素要求量。水中の汚濁物質(主として有機物)が微生物によって酸化分解されるときに必要なとされる酸素量、河川の汚濁を表す代表的な指標です。値が大きいほど汚濁の度合いが著しいことを表します。
COD (mg/l)	化学的酸素要求量。水中の汚濁物質(主として有機物)を酸化剤で化学的に酸化するときに消費される酸素量で、海域や湖沼の汚濁を表す代表的な指標です。値が大きいほど汚濁の度合いが著しいことを表します。
SS (mg/l)	浮遊物質。水中に浮遊又は懸濁している粒形2mm以下の物質の量のことで、微生物などの有機物や無機物などが含まれる。値が大きいほど水の透明度などの外観が悪化するほか、魚のえら呼吸や水中植物の光合成に影響することがあります。
DO (mg/l)	溶存酸素量。水中に溶け込んでいる酸素量のことをいいます。水質の指標として用いられ、値が大きいほど水質は良好とされています。
大腸菌群数(MPN/100ml)	人や動物の糞便中には大腸菌が多く存在するため、これを測ることにより糞便による汚染の程度を知ることができます。値が大きいほど汚染が進んでいると考えられています。
ノルマルヘキサン抽出物質(mg/l)	油脂、ワックス、グリシなど酸性でノルマルヘキサンにより抽出される物質の総称で、通常「油分等」といわれており、鉱油、動植物油等の量を表す指標として使われています。油が流出すると、魚介類の死滅や農作物の生育を阻害、油臭の原因となります。
全窒素 (mg/l)	環境水中の窒素の化合物の濃度。窒素とともに、水中の栄養塩類として藻類や植物プランクトンの増殖に不可欠な物質ですが、含有量が増加すると富栄養化を促進する原因となり、閉鎖性水域では赤潮やアオコの発生原因となります。
全りん (mg/l)	環境水中のリンの化合物の濃度。水中の栄養塩類として藻類や植物プランクトンの増殖に不可欠な物質ですが、含有量が増加すると富栄養化を促進する原因となり、閉鎖性水域では赤潮やアオコの発生原因となります。
電気伝導率(mS/m)	水の電流の通しやすさを示す指標です。電解質が多いと電流を通しやすく、少ないと電流を通しにくくなります。電気伝導率を測ることで、水の中に不純物として電解質がどの程度含まれるのかを知ることができます。
塩化物イオン(mg/l)	水中に溶解している塩化物の塩素分のことで、排水の混入や希釈度の指標となります。自然水中にはほとんど存在せず、人為的汚濁が進んだ河川ほど高い値を示します。
陰イオン界面活性剤(mg/l)	合成洗剤の有効成分で、水溶液中で電離して主体が陰イオンになるものの濃度です。合成洗剤による著しい発泡や水生生物への影響などの問題から測定するものです。

河川底質調査(平成30年度～令和3年度)

令和3年度

単位:mg/kg

	ヒ素	鉛	ｶﾞﾐﾝ	全水銀	六価ｸﾚﾓﾝ	ｼｱﾝ化合物	有機ﾘﾝ
岩崎橋	0.7	4.6	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
米野木橋	1.5	12.9	0.13	<0.01	<2	<0.1	<1
野方大橋	<0.5	4.7	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
新大正橋	<0.5	7.6	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
金剛橋	2.1	5.2	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1

令和2年度

単位:mg/kg

	ヒ素	鉛	ｶﾞﾐﾝ	全水銀	六価ｸﾚﾓﾝ	ｼｱﾝ化合物	有機ﾘﾝ
岩崎橋	<0.5	5.8	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
米野木橋	1.9	5.7	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
野方大橋	<0.5	7	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
新大正橋	<0.5	5.8	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
金剛橋	1	4.9	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1

令和元年度

単位:mg/kg

	ヒ素	鉛	ｶﾞﾐﾝ	全水銀	六価ｸﾚﾓﾝ	ｼｱﾝ化合物	有機ﾘﾝ
岩崎橋	0.5	2.6	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
米野木橋	<0.5	2.8	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
野方大橋	<0.5	3	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
新大正橋	1.2	2.5	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1
金剛橋	1.7	2	<0.05	<0.01	<2	<0.1	<1

平成30年度

単位:mg/kg

	ヒ素	鉛	ｶﾞﾐﾝ	全水銀	六価ｸﾚﾓﾝ	ｼｱﾝ化合物	有機ﾘﾝ
岩崎橋	0.9	3.5	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
米野木橋	3.2	3.1	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
野方大橋	0.7	3.3	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
新大正橋	2.8	2.6	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1
金剛橋	1.4	4.3	<0.05	<0.01	<2	<0.5	<1

ため池水質調査(平成30年度～令和3年度)

令和3年度

	PH	COD (mg/l)	SS(mg/l)	DO(mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	7.6	9.4	13	8.9	0.92	0.13	7.8
笠寺池	7.5	14	7	10	1.3	0.11	5.1
芋地池	8.3	3.6	34	9.2	1.3	0.078	20
弁天池	7.6	2.7	3	7.9	0.46	0.035	13
海老池	8.8	4.5	3	10	0.54	0.054	6.3
三ヶ峯下池	7.7	4.8	4	13	0.51	0.043	4.4
岩藤新池	6.9	3.5	<1	9.6	0.16	0.015	4.6
林池	8.1	4.9	<1	9.6	0.46	0.056	7.5
三ツ池(野方)	8.1	6.2	6	10	0.48	0.051	18
機織池	8.5	3.1	1	9.8	0.32	0.035	7.5
鶴思慕池	5.4	1.2	<1	8.3	0.11	0.012	1.9

令和2年度

	PH	COD (mg/l)	SS(mg/l)	DO(mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	7.0	6.4	7	6.2	0.87	0.089	11
笠寺池	7.0	27	29	8.1	4.2	0.27	8.7
芋地池	7.9	5.3	14	10	1.4	0.048	33
弁天池	7.8	4.9	6	8.4	0.62	0.036	12
海老池	7.5	6.4	13	8.1	0.6	0.04	10
三ヶ峯下池	6.9	6.8	6	8.5	0.55	0.048	4.8
岩藤新池	6.8	2.7	<1	8.3	0.26	0.017	4.2
林池	7.4	6.8	4	7.9	0.89	0.077	7.7
三ツ池(野方)	7.6	7.6	10	8.8	0.69	0.029	24
機織池	9.0	5.1	4	9.3	0.19	0.017	7.9
鶴思慕池	5.1	1.7	1	6.8	0.09	0.006	2

令和元年度

	PH	COD (mg/l)	SS(mg/l)	DO(mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	6.8	8.9	4	5.3	0.63	0.08	7.7
笠寺池	6.9	12	4	6.8	0.6	0.12	7.4
芋地池	8.2	4.4	6	12	0.9	0.032	26
弁天池	7.8	5.3	7	8.4	0.6	0.032	13
海老池	8.5	6.1	7	10	0.31	0.05	8.7
三ヶ峯下池	7.6	5.4	4	12	0.33	0.041	5.1
岩藤新池	6.8	3.6	<1	8.3	<0.05	0.005	4.4
林池	7.5	7.2	4	8.6	0.45	0.062	8.2
三ツ池(野方)	7.8	8.4	7	9.7	0.42	0.033	23
機織池	8.4	3.2	2	9.4	0.08	0.014	7.8
鶴思慕池	5.4	1.6	2	7.2	<0.05	0.008	2.1

平成30年度

	PH	COD (mg/l)	SS(mg/l)	DO(mg/l)	全窒素 (mg/l)	全りん (mg/l)	電気伝導率 (mS/m)
上納池	6.8	2.9	18	6.1	0.54	0.041	9.6
笠寺池	7	16	11	9	1.4	0.14	7.7
芋地池	8.2	5.6	26	11	0.95	0.059	37
弁天池	7.5	4.2	5	7.4	0.39	0.027	16
海老池	7.2	6.1	11	7.9	0.75	0.061	8.9
三ヶ峯下池	6.8	5.6	4	8.8	0.8	0.052	5.5
岩藤新池	6.8	3.2	<1	8.3	0.16	0.005	3.9
林池	7.4	6.6	8	8.3	0.69	0.064	7.9
三ツ池(野方)	7.4	6.4	5	8.2	0.52	0.03	22
機織池	8.1	3.1	5	8	0.29	0.057	10
鶴思慕池	6	1.4	1	7.8	0.22	0.009	1.8

大気汚染物質調査について

本市では、近くの工場や車から排出された比較的大きな粒子が問題となり、平成27年度まで大気浮遊物質調査と降下ばいじん調査を継続的に測定を行ってきましたが、二酸化窒素、二酸化硫黄及び浮遊粒子物質については、環境基準を達成しており且つ減少傾向を示しています。

現在問題とされているのは、他の国から排出されたものを含むPM2.5などの粒子の小さな浮遊物質です。その対策として国の広域監視システムが整備され、県の大気汚染常時監視の測定結果がホームページで公開されるなど整備が進みました。これにより、本市が行う調査は一定の役割を終えたと考えています。

県の測定局として、本市では五色園とんねる公園と上納池スポーツ公園の2カ所で測定がされています。測定値や統計値などの大気汚染物質調査結果の詳細は、愛知県大気環境情報ホームページをご覧ください。

愛知県大気環境情報ホームページ <http://taiki-kankyo-aichi.jp/kanshi/realtime/>

この年次報告書は、日進市環境まちづくり基本条例第16条に基づき、令和3年度における日進市環境基本計画に位置づけられた環境指標の状況、環境基本計画等の実施状況、環境基本計画等の取組に対する効果について取りまとめ、公表するものです。

令和4年度版
日進市環境基本計画年次報告書

令和4年10月

<発行>日進市

<編集>生活安全部 環境課

〒470-0192 愛知県日進市蟹甲町池下268番地

TEL 0561-73-2896 (ダイヤルイン)

FAX 0561-72-4603

Email kankyo@city.nisshin.lg.jp